■困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

サイバーショットの最新サポート情報（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

付属ソフトウェア（Picture Package）のサポート情報
http://www.ppackage.com/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください。）

テクニカルインフォメーションセンター
電話：0564-62-4979
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時（年末、年始、祝日を除く）
お問い合わせの際は、本機をお手元にご用意ください。

PicturePackageに関するお問い合わせ窓口
ピクセラユーザーサポートセンター
電話：06-6633-3900
受付時間：月～日曜日　午前9時～午後5時（年末、年始、祝日を除く）

指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。テクニカルインフォメーションセンターへお電話いただくか、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35　http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

2586561030

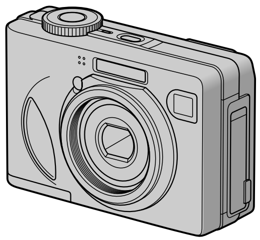
SONY　2-586-561-**03** (1)

サイバーショット取扱説明書

活用編・困ったときは

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書と別冊の「サイバーショット取扱説明書 はじめにお読みください」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



DSC-W5/W7

Cyber-shot

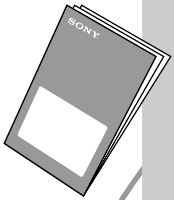
MEMORY STICK ™

「Cyber-shot Life」（CD-ROM）
（Windowsのみ対応）
準備から活用まで。サイバーショットの楽しみかたをムービーで紹介します。付属のCD-ROMをパソコンで再生してご覧ください。

「はじめにお読みください」（別冊）
本機を使うための準備と、基本的な撮影・再生の方法を説明しています。

サイバーショットを楽しむために

まずは準備をして、簡単に撮影しよう！



別冊「はじめにお読みください」

1 電池を準備する

2 電源を入れ、時計を合わせる

3 "メモリースティック"（別売り）を入れる

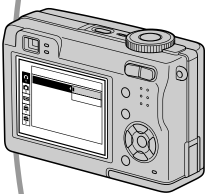
4 用途に合わせて画像サイズを決める

5 簡単に撮る（オート撮影）
場面に合わせて静止画を撮る（シーンセレクション）

6 画像を見る／削除する

本書では、→*別冊「はじめに」*とご案内しています。

少し慣れたら、本機の機能を使いこなそう！ ***本書***



- お好みの設定で撮影する（プログラムオート撮影/マニュアル撮影）→23ページ
- メニューを使って、さまざまな撮影/再生を楽しむ→26ページ
- 本機のお買い上げ時の設定を変える→42ページ

さらに、パソコンやプリンターとつないで楽しもう！ ***本書***



- 画像をパソコンに取り込んで活用→54ページ
- 本機をプリンターに直接つないでプリント（PictBridge対応プリンターのみ）→69ページ

目次

セットアップ画面を使う

パソコンで楽しむ

静止画をプリントする

テレビにつなぐ

困ったときは

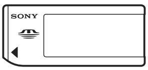
その他

お使いになる前に必ずお読みください

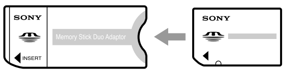
本機で使用できる“メモリースティック”（別売り）

本機で使用するIC記録メディアは“メモリースティック”（"MemoryStick"）です。“メモリースティック”のサイズには2種類あります。

- “メモリースティック”：本機で使用可能です。



- “メモリースティック デュオ”：メモリースティック デュオ アダプターに入れて、本機で使用可能です。



メモリースティック
デュオ アダプター

- “メモリースティック”について詳しくは、90ページをご覧ください。

ニッケル水素電池についてのご注意

- 初めてお使いになるときは、付属のニッケル水素電池を必ず2本とも充電してください。（*→別冊「はじめに」手順1*）
- 電池を使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- 電池を長持ちさせるために、長時間使用しない場合は、本機で使い切った後、電池を取りはずして湿度の低い涼しい場所で保管してください(92ページ)。
- 電池について詳しくは、92ページをご覧ください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作りだすことを可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピー（バックアップ）をおとりください。

内蔵メモリーのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電池/“メモリースティック”カバーを開けるなどで電源を切ると、内蔵メモリーのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。データのバックアップ方法は、21ページをご覧ください。

録画・再生に際してのご注意

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」（94ページ）もご覧ください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機を濡らさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。

- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。目に回復不可能なほどの障害をきたすおそれがあります。また故障の原因にもなります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからご使用ください(94ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

液晶画面、液晶ファインダー（搭載機種のみ）およびレンズについてのご注意

- 液晶画面や液晶ファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- 液晶画面や液晶ファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所で使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 本機の可動式レンズ部をぶつけたり、無理な力をかけないようご注意ください。

画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影／修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

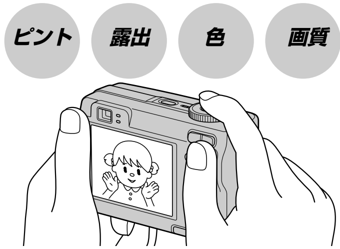
電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本書中の画像について

画像の例として本書に掲載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

ステップアップのための基礎知識

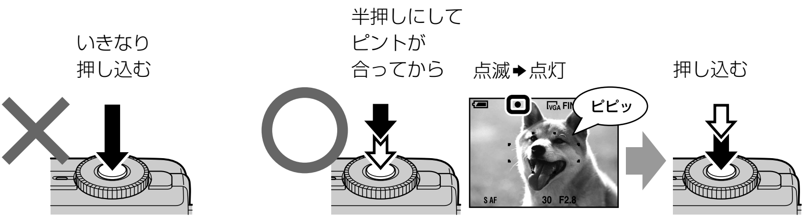


ここでは、サイバーショットを使いこなすための基礎について説明します。
本機に搭載された多彩な機能は、モードダイヤル(23ページ)や、メニュー（26ページ)などで使うことができます。

ピント

クリアな画像を撮るために

本機はシャッターを半押しすることで、ピントを自動で合わせます(オートフォーカス)。
シャッターを半押しする習慣をつけましょう。



ピントがうまく合わないときは：→[フォーカスプリセット]（29ページ）
ピントを合わせても画像がクリアでないときは、手ぶれを起こしている場合があります：→次の「手ぶれを起こさないためのヒント」をご覧ください。

手ぶれを起こさないためのヒント

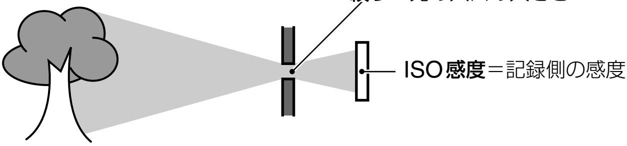
脇を締め、カメラをしっかり押さえてください。そばに木などがあれば寄りかかると安定します。また、三脚の使用、暗い場所でのフラッシュの使用もおすすめします。



露出

光の量を調整して好みの画像を撮る

露出と記録感度を調整することで、さまざまな仕上がりにすることができます。露出とはシャッターを切ったときに取り入れる光の量のことです。





露出オーバー
＝光が多すぎる
画面が白くなる



露出が適正



露出アンダー
＝光が少なすぎる
画面が暗くなる

本機は露出が適正になるように自動調整します（オート撮影時）が、以下の機能でお好みの状態に調整することができます。

[マニュアル露出]：
シャッタースピードと絞りを手動調整
→24ページ

[EV補正]：
自動調節した露出を補正→28ページ

[測光モード]：
露出を自動調整する場所を変更
→30ページ

「シャッタースピード」の特性



速くする
動きのあるものが止まって見える。



遅くする
動きのあるものが流れて見える。

「絞り」の特性（F値で設定）



絞りを開く
ピントの合う範囲が前後に狭くなる。



絞りを閉じる
ピントの合う範囲が前後に広くなる。

ISO感度の調整

ISOとは、光を受け取る撮像素子（写真フィルムに相当する部分）の感度をあらわす単位です。同じ露出で撮影しても、設定によって仕上がる画像が変わります。[ISO]感度を調整→31ページ



ISO感度が高い
露出が足りない場所でも、明るめに記録することができます。
ただし、画像にざらつきが生じやすくなります。

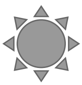
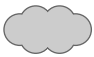
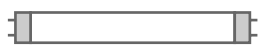


ISO感度が低い
ざらつきの少ない画像を撮ることができます。
ただし、画像は暗めに記録されることがあります。

色　光の影響について

被写体の見た目の色は、その場の光の影響を受けます。

例：同じ色が光の影響で違って見えます

天候や照明	晴れ 	曇り 	蛍光灯 	電球 
光の特性	基準となる白	青みがかる	緑がかる	赤みがかる

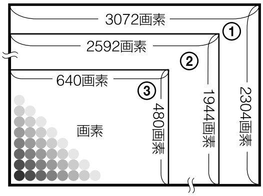
本機はこの変化を適正にするように自動調整します（オート撮影時）が、［ホワイトバランス］（31ページ）でお好みの色に調整することができます。

画質

「画素」と「画像サイズ」について

デジタル写真は「画素(ピクセル)」という小さな点が集まって作られています。「画素」を多く使うと、写真は大きく、データ量は多く、画面は精細になります。「画像サイズ」とはこの画素数を指し、本機の画面では違いはわかりませんが、プリントしたりパソコンの画面で見たときに、写真の精細さやデータ処理時間に影響します。

画素と画像サイズのイメージ

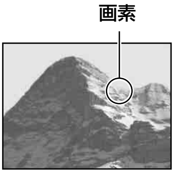


① 画像サイズ：7M(DSC-W7のみ)
3072画素×2304画素＝7077888画素

② 画像サイズ：5M
2592画素×1944画素＝5038848画素

③ 画像サイズ：VGA(Eメール)
640画素×480画素 =307200画素

用途にあわせてサイズを選ぶ(→*別冊「はじめに」手順4*)





多い(細密で、データ量が多い) → 例：A3サイズまでの用紙に印刷する



少ない(粗いが、データ量が少ない) → 例：電子メールで送る

静止画画像サイズ		用途の例
7M (3072×2304) (DSC-W7のお買い上げ時の設定)	大きい	• A3サイズプリントやA4サイズ高精細プリントする場合
3:2 (3072×2048)* (DSC-W7のみ)	↑	
5M (2592×1944) (DSC-W5のお買い上げ時の設定)		• A4サイズプリントやA5サイズ高精細プリントする場合
3:2 (2592×1728)* (DSC-W5のみ)		
3M (2048×1536)		
1M (1280×960)	↓	• 写真のL判でプリントする場合
VGA (Eメール) (640×480)	小さい	• より多くの画像を撮影する場合 • Eメールへの画像添付やホームページ作成用の場合

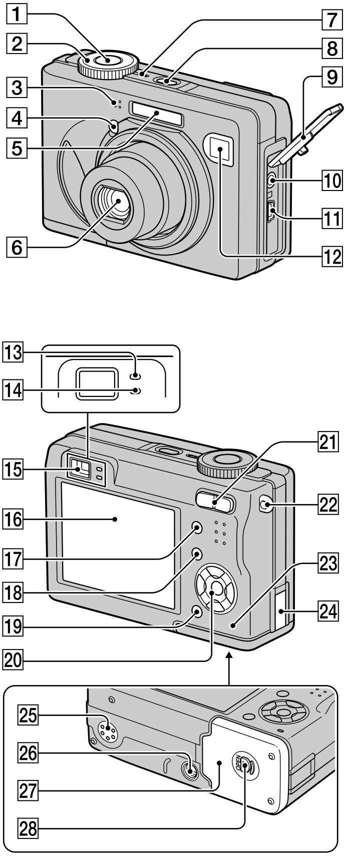
*写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の横縦比で撮影します。

画質(圧縮率)設定をあわせて使う(31ページ)

デジタル写真を保存するときの圧縮率を変更することができます。圧縮率を高くすると写真の精細さは落ちますが、データ量は少なくなります。

各部のなまえ

カッコ内の数字はページ数。



1 シャッターボタン（→*別冊「はじめに」手順5*）

2 モードダイヤル（23）

3 マイク

4 セルフタイマーランプ（→*別冊「はじめに」手順5*）／ AFイルミネーター（45）

5 フラッシュ（→*別冊「はじめに」手順5*）

6 レンズ

7 POWERランプ（→*別冊「はじめに」手順2*）

8 POWERボタン（→*別冊「はじめに」手順2*）

9 端子カバー

10 A/V OUT (MONO)端子（75）

11 ψ（USB）端子（57）

12 ファインダー窓

13 AE/AFロックランプ／セルフタイマーランプ（緑）（→*別冊「はじめに」手順5*）

14 ⚡/録画ランプ（オレンジ）（→*別冊「はじめに」手順5*）

15 ファインダー（→*別冊「はじめに」手順5*）

16 液晶画面（14）

17 [□]（画面表示／液晶画面オン／オフ）ボタン（18）

18 MENUボタン（26）

⑲ ⊞ / 🗑(画像サイズ/削除)ボタン(→*別冊「はじめに」手順4、6*)

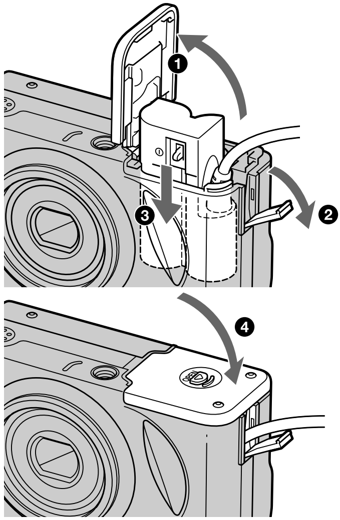
⑳ コントロールボタン
メニューオン時:▲/▼/◀/▶/●(→*別冊「はじめに」手順2*)
メニューオフ時:⚡/👆/⊡/🌷(→*別冊「はじめに」手順5*)
モードダイヤル「M」時:シャッタースピード/絞り値(24)

㉑ 撮影時:ズーム(W/T)ボタン(→*別冊「はじめに」手順5*)
再生時:⊖/⊕(再生ズーム)ボタン/
⊞(インデックス)ボタン(→*別冊「はじめに」手順6*)

㉒ リストストラップ取り付け部(→*別冊「はじめに」*)

㉓ アクセスランプ(→*別冊「はじめに」手順4*)

㉔ ACアダプターコードカバー
ACアダプター AC-LS5K(別売り)を使うとき



- コードをはさまないようにして、カバーを閉めます。

㉕ スピーカー(底面)

㉖ 三脚用ネジ穴(底面)

- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。
ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

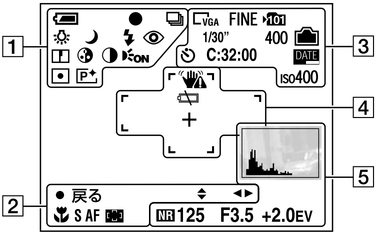
㉗ 電池/"メモリースティック"カバー(→*別冊「はじめに」手順1、3*)

㉘ OPEN(オープン)ボタン(底面)

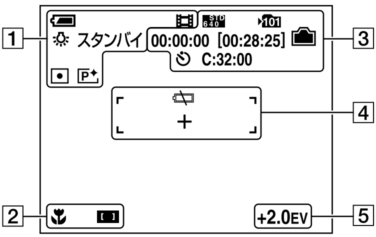
画面の表示

カッコ内の数字はページ数。

静止画撮影時



動画撮影時



1

表示	意味
	電池残量(→*別冊「はじめに」手順1*)
●	AE/AFロック(→*別冊「はじめに」手順5*)
	撮影モード(23、32)
WB	ホワイトバランス(31)
スタンバイ 録画	動画撮影/スタンバイ(→*別冊「はじめに」手順5*)
	モードダイヤル(シーンセレクション)(→*別冊「はじめに」手順5*)
P M	モードダイヤル(23)
SL	フラッシュモード(→*別冊「はじめに」手順5*)
	赤目軽減(44)
	シャープネス(34)
	彩度(34)
	コントラスト(34)
ON	AFイルミネーター(45)
	測光モード(30)
	ピクチャーエフェクト(34)

2

表示	意味
◆ ◀▶	マニュアル露出設定モード(24)
	マクロ(→*別冊「はじめに」手順5*)
S AF M AF	AFモード(43)
[ ] [ ] [ ]	AF測距枠表示(29)
1.0m	フォーカスプリセット値(29)
●戻る	マニュアル露出(24)

3

表示	意味
7M (DSC-W7のみ) 5M 3:2 3M 1M VGA FINE 640 STD 640 160	画像サイズ(→*別冊「はじめに」手順4*)
FINE STD	画質(31)
101	記録フォルダ(48) • 内蔵メモリー使用時は表示されません。
	内蔵メモリー残量(19)
	"メモリースティック"残量(19)
00:00:00 [00:28:05]	記録時間[最大記録可能時間](19)
1/30"	マルチ連写インターバル(33)
400	撮影残枚数(19)
	セルフタイマー(→*別冊「はじめに」手順5*)
C:32:00	自己診断表示(87)
DATE	日付/時刻表示(44)
ISO400	ISO感度(31)

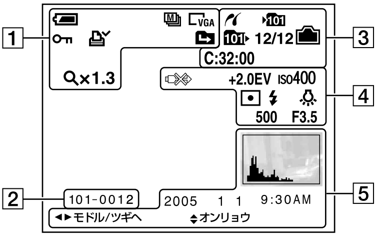
4

表示	意味
	手ぶれ警告(8) • 手ぶれのため、きれいに画像が撮れないことを示しています。表示されていても、撮影は可能ですが、光量を増やすためにフラッシュを使ったり、三脚を使うことをおすすめします。
	バッテリープリエンド(22)
+	スポット測光照準(30)
	AF測距枠(29)

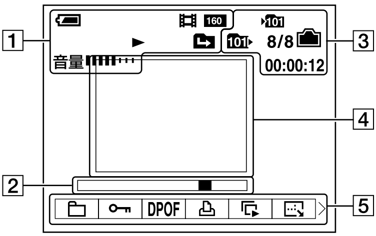
5

表示	意味
	ヒストグラム(18、28)
NR	NRスローシャッター(25)
125	シャッタースピード(24)
F3.5	絞り値(24)
+2.0EV	EV補正値(28)
DPOF (左の画面イラストには出ていません)	メニュー/ガイドメニュー(26)

静止画再生時



動画再生時



1

表示	意味
(バッテリー残量表示)	電池残量(→*別冊「はじめに」手順1*)
7M(DSC-W7のみ) 5M 3:2 3M 1M VGA STD 640 FINE 640 160	画像サイズ(→*別冊「はじめに」手順4*)
(撮影モード表示)	撮影モード(23、32)
►	再生(→*別冊「はじめに」手順6*)
音量	音量(→*別冊「はじめに」手順6*)
(プロテクト表示)	プロテクト(35)
(プリント予約マーク表示)	プリント予約マーク(73)
(フォルダ移動表示)	フォルダ移動(35) • 内蔵メモリー使用時は表示されません。
×1.3	*ズーム(→別冊「はじめに」手順6)*
コマ再生 12/16	コマ再生(32)

2

表示	意味
101-0012	フォルダ-ファイル番号(35)
(再生バー表示)	再生バー(→*別冊「はじめに」手順6*)

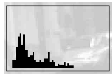
3

表示	意味
	PictBridge接続(70)
	記録フォルダ(48) • 内蔵メモリー使用時は表示されません。
	内蔵メモリー残量(19)
	“メモリースティック”残量(19)
	再生フォルダ(35) • 内蔵メモリー使用時は表示されません。
8/8 12/12	画像番号／再生フォルダ内画像枚数
C:32:00	自己診断表示(87)
00:00:12	カウンター (19)

4

表示	意味
	USBケーブル抜き禁止(71)
+2.0EV	EV補正値(28)
ISO400	ISO感度(31)
	測光モード(30)
	フラッシュモード
WB AWB	ホワイトバランス(31)
500	シャッタースピード(24)
F3.5	絞り値(24)
	再生画像(→*別冊「はじめに」手順6*)

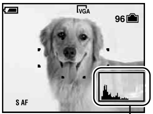
5

表示	意味
	ヒストグラム(18、28) • 表示不能のときは ⊗ が表示されます。
2005 1 1	画像の記録日付(44)
DPOF	メニュー／ガイドメニュー (26)
◀▶モドル/ツギヘ	前後の画像を表示
◆オンリョウ	音量調節

画面表示を切り換える

（画面表示/液晶画面オン/オフ）ボタンを押すたびに、液晶画面の表示が以下のように切り換わります。

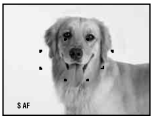
ヒストグラム表示オン



再生時は画像情報も表示

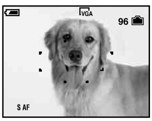
ヒストグラム（28ページ）

画面表示オフ



液晶画面オフ

画面表示オン



- 下記の場合、ヒストグラムは表示されません。
  – 撮影時：メニュー表示時/動画時
  – 再生時：メニュー表示時/インデックス再生時/拡大再生時/静止画回転時/動画時
- 撮影時と再生時のヒストグラムは、下記のとき大きく異なります。
  – フラッシュ発光したとき
  – シャッタースピードが遅い、速いとき
- 他機で撮影した画像はヒストグラムが表示されないことがあります。

- 液晶画面オフのときは、デジタルズームは働きません（43ページ）。AFモードは［シングルAF］になります（43ページ）。（フラッシュモード）/（セルフタイマー）/（マクロ）を押すと液晶画面に画像が約2秒間表示されます。

静止画の記録可能枚数と動画の記録時間

本機でフォーマットした"メモリースティック"に記録できる撮影枚数、時間の目安は次のとおりです。記録枚数/時間は撮影状況によって異なる場合があります。
また、内蔵メモリーの記録可能枚数は、32MBの"メモリースティック"と同等です。

静止画の記録枚数(画質　上段：[ファイン]、下段[スタンダード])(枚)

サイズ＼容量	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
7M (DSC-W7のみ)	9	18	37	67	137	279	573
	18	36	73	132	268	548	1125
3:2 (DSC-W7のみ)	9	18	37	67	137	279	573
	18	36	73	132	268	548	1125
5M	12	25	51	92	188	384	789
	23	48	96	174	354	723	1482
3:2 (DSC-W5のみ)	12	25	51	92	188	384	789
	23	48	96	174	354	723	1482
3M	20	41	82	148	302	617	1266
	37	74	149	264	537	1097	2250
1M	50	101	202	357	726	1482	3038
	93	187	376	649	1320	2694	5524
VGA (Eメール)	196	394	790	1428	2904	5928	12154
	491	985	1975	3571	7261	14821	30385

- 撮影モードが[通常撮影]のときの枚数。
- [マルチ連写]の画像サイズは、1Mとなります。
- 静止画の撮影残枚数が9999枚より多いときは、「>9999」と表示されます。
- 撮影した画像サイズをあとで変更できます([リサイズ]、38ページ)。

動画の記録時間（時：分：秒）

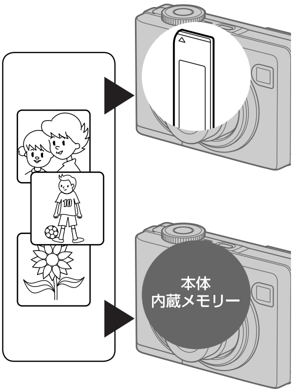
容量 / サイズ	32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
640（ファイン）	–	–	–	0:02:57	0:06:02	0:12:20	0:25:18
640（スタンダード）	0:01:27	0:02:56	0:05:54	0:10:42	0:21:47	0:44:27	1:31:09
160	0:22:42	0:45:39	1:31:33	2:51:21	5:47:05	11:44:22	24:18:25

- ［640（ファイン）］は、"メモリースティック PRO"のみに記録できます。
- 画像サイズ・画質については、11ページをご覧ください。
- 当社の従来モデルで撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示されます。

“メモリースティック”がないときは（内蔵メモリー記録）

本機には、取りはずすことのできない内蔵メモリー（32MB）が装備されています。本機に“メモリースティック”が入っていないときでも、画像を内蔵メモリーに記録することができます。

• 画像サイズが[640（ファイン）]の動画は内蔵メモリーに記録できません。



“メモリースティック”（別売り）が挿入されているとき

[撮影画像]：“メモリースティック”に記録します。

[再生]：“メモリースティック”内の画像を再生します。

[メニュー/セットアップなどの機能]：
“メモリースティック”内のデータに対して行います。

“メモリースティック”が挿入されていないとき

[撮影画像]：内蔵メモリーに記録します。

[再生]：内蔵メモリーの画像を再生します。

[メニュー/セットアップなどの機能]：内蔵メモリー内のデータに対して行います。

内蔵メモリーに記録した画像データについて

必ず、以下のいずれかの方法でバックアップを取ることをおすすめします。

“メモリースティック”にバックアップをとるには

32MB以上の容量の“メモリースティック”を準備し、[コピー]（50ページ）の操作を行う。

パソコンのハードディスクにバックアップをとるには

本機に“メモリースティック”を入れない状態で、56～60ページの操作を行う。

• “メモリースティック”に記録された画像データを、内蔵メモリーに移すことはできません。
• 本機とパソコンをUSB接続して、内蔵メモリーのデータをパソコンにコピーできますが、パソコン内のデータを内蔵メモリーにコピーすることはできません。

電池使用時間と撮影/再生枚数

下の表は撮影モードを[通常撮影]にし、容量いっぱいの電池で温度25℃の環境で使用した場合の目安です。また、撮影/再生枚数は"メモリースティック"を交換しながら撮影/再生したときの目安です。ご使用の状況によって記載より少ない数値になる場合があります。

- 使用回数や経年変化により、電池容量は低下します（93ページ）。
- 次のような場合は使用時間と撮影/再生枚数は、表示よりも少なくなります。
  - 周囲が低温のとき
  - フラッシュ使用時
  - 電源の入／切を繰り返したとき
  - ズームを多用したとき
  - [LCDバックライト]が[明]のとき
  - [AFモード]が[モニタリング]のとき
  - 電池の容量が低下したとき

静止画撮影時

電池	液晶画面	撮影枚数	使用時間
DSC-W7			
単3形ニッケル水素電池NH-AA-DA（付属）	オン	約380枚	約190分
単3形ニッケル水素電池NH-AA-DA（付属）	オフ	約500枚	約250分
単3形アルカリ電池	オン	約70枚	約35分
単3形アルカリ電池	オフ	約130枚	約65分
DSC-W5			
単3形ニッケル水素電池NH-AA-DA（付属）	オン	約420枚	約210分
単3形ニッケル水素電池NH-AA-DA（付属）	オフ	約580枚	約290分
単3形アルカリ電池	オン	約80枚	約40分
単3形アルカリ電池	オフ	約150枚	約75分

- 撮影時の数値は以下の設定で撮影した数値。
  - [ ]（画質）：[ファイン]
  - [AFモード]：[シングル]
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする
  - 2回に1度、フラッシュを発光する
  - 10回に1度、電源を入／切する
- 測定方法はCIPA規格による。（CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）
- 画像サイズによって撮影枚数が変化することはありません。

静止画再生時

電池	再生枚数	使用時間
DSC-W7		
単3形ニッケル水素電池NH-AA-DA（付属）	約8800枚	約440分
DSC-W5		
単3形ニッケル水素電池NH-AA-DA（付属）	約9200枚	約460分

- 約3秒ごとにシングル画面で順番に再生した数値。

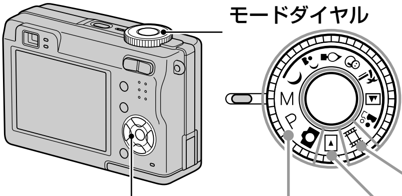
動画撮影時

電池	液晶画面オン	液晶画面オフ
DSC-W7		
単3形ニッケル水素電池NH-AA-DA（付属）	約180分	約250分
DSC-W5		
単3形ニッケル水素電池NH-AA-DA（付属）	約220分	約300分

- 画像サイズが[160]で連続撮影した数値。

モードダイヤルを使いこなそう

モードダイヤルを、操作したい機能に合わせて設定します。



：動画撮影
→別冊「はじめに」手順5

▶：再生/編集
→別冊「はじめに」手順6

静止画撮影モード

：静止画オート撮影

自動設定で簡単に撮影できます。→*別冊「はじめに」手順5*

：シーンセレクション

あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます。
→*別冊「はじめに」手順5*

P：プログラムオート撮影

露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定します。メニューで多彩な機能を設定できます。（使用可能な機能について→27ページ）

M：マニュアル露出撮影

露出（シャッタースピードと絞り）を手動設定します（24ページ）。
また、メニューで多彩な機能を設定できます。（使用可能な機能について→27ページ）

シーンセレクション

設定方法→*別冊「はじめに」手順5*

シーンセレクションでは、シーンに合わせて最適な撮影ができるよう、機能設定の組み合わせがあらかじめ決まっています。●はお好みの設定ができる機能です。

	マクロ	フラッシュモード	AF測距枠	フォーカスプリセット	ホワイトバランス	連写/マルチ連写
	−	⊘⚡	●	∞	●	−
	●	⚡SL	●	●	オート/⚡WB	−
	−	⊘⚡	中央重点AF	0.5m/1.0m 3.0m/7.0m	☀	−
	●	⚡/⊘⚡	●	●	●	●
	●	⚡/⊘⚡	●	●	●	●
	−	⚡/⊘⚡	●	∞	●	●
	●	●	●	●	●	●

露出を手動調節するには（マニュアル露出）

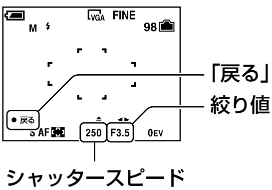
① モードダイヤルを「M」にした状態で、コントロールボタン中央の●を押す。

画面左下の「設定」が「戻る」に変わり、マニュアル露出設定モードになる。

② コントロールボタンを使って調節する。

◀/▶：絞り（F値）

▲/▼：シャッタースピード



絞りは、下記から選べます。

−ズームがW側いっぱいのときは、F2.8またはF5.6

−ズームがT側いっぱいのときは、F5.2またはF10

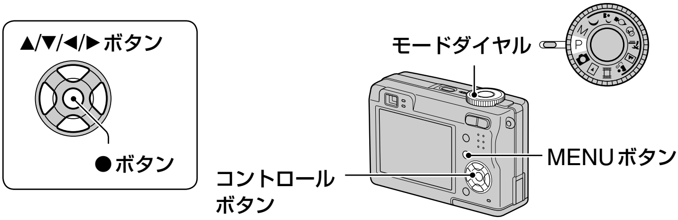
シャッタースピードは、1/1000秒から30秒の範囲で選べます。

設定した値と本機が判断した適正露出の差が画面上にEV値（28ページ）で表示されます。0EVが本機が最適と判断した値です。

③ 撮影する。

- クイックレビュー、近接（マクロ）撮影、セルフタイマー撮影、フラッシュモード選択をするには、手順①の後に、中央の●を押し、マニュアル露出設定モードを解除する。（画面表示が「戻る」から「設定」に変わります。）
- フラッシュは⚡（強制発光）または㊉（発光禁止）になります。
- 1秒以上は「1"」のように「"」が表示されます。
- シャッタースピードを遅くするときは手ぶれを防ぐために三脚のご使用をおすすめします。
- シャッタースピードを1/6秒以下に設定すると、自動的にNRスローシャッター機能が働き、画像ノイズを低減します。画面に「NR」と表示されます。
- シャッタースピードを遅く設定すると、処理に時間がかかります。

メニューの操作方法

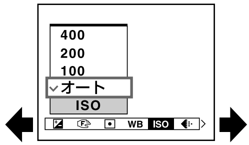


1 本機の電源を入れ、モードダイヤルを合わせる。

モードダイヤルの位置によって、使用できる項目が異なります。

2 MENUボタンを押し、メニューを表示する。

3 コントロールボタンの◀/▶を押し、設定するメニュー項目を選ぶ。



- 設定するメニュー項目がかくれている場合は、◀/▶を押しつづけて表示する。
- モードダイヤルが「▶」のときは、項目選択後●を押す。

4 ▲/▼を押して、設定を選ぶ。

選ばれた設定が拡大表示されて設定される。

5 MENUボタンを押し、メニュー表示を消す。

- 項目表示の端に▲/▼マークが付いているときは、画面に表示されていない項目があります。コントロールボタンで移動すると表示できます。
- グレー表示の項目は設定できません。

メニュー項目一覧

モードダイヤルの位置によって、使用できるメニュー項目が異なります。本機の画面には、使用できる項目のみ表示されます。

（●：使用可能）

モードダイヤルの位置：		P	M	シーンセレクション		
撮影時に使うメニュー（28ページ）						
（EV補正）	–	●	–	●	●	–
（フォーカス）	–	●	●	●	●	–
（測光モード）	–	●	●	●	●	–
WB（ホワイトバランス）	–	●	●	●	●	–
ISO（ISO設定）	–	●	●	●	–	–
（画質）	–	●	●	●	–	–
Mode（撮影モード）	●	●	●	●	–	–
（インターバル）	–	●	●	●*	–	–
（フラッシュレベル）	–	●	●	●*	–	–
PFX（P.エフェクト）	–	●	●	●	●	–
（彩度）	–	●	●	–	–	–
（コントラスト）	–	●	●	–	–	–
（シャープネス）	–	●	●	–	–	–
（セットアップ）	●	●	●	●	●	●
再生時に使うメニュー（35ページ）						
（フォルダ）	–	–	–	–	–	●
（プロテクト）	–	–	–	–	–	●
DPOF	–	–	–	–	–	●
（プリント）	–	–	–	–	–	●
（スライドショー）	–	–	–	–	–	●
（リサイズ）	–	–	–	–	–	●
（回転）	–	–	–	–	–	●
（分割）	–	–	–	–	–	●
（セットアップ）	–	–	–	–	–	●
トリミング**	–	–	–	–	–	●

* シーンセレクションのモードによっては使用できません。

** 拡大再生時のみ。

撮影時に使うメニュー

→操作方法は26ページ

お買い上げ時の設定は✓で示しています。

（EV補正）



−方向　　　　　　　　＋方向

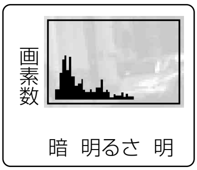
露出を手動補正します。

	⬆ ＋2.0EV	＋側：画像が明るくなる。
✓	0EV	本機が自動設定した露出。
	⬇ −2.0EV	−側：画像が暗くなる。

- 露出について→9ページ
- 1/3EV単位で露出値を調節できます。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、補正が効かないことがあります。

ヒストグラムを使って[EV補正]を行う





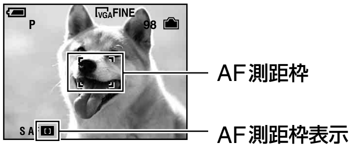
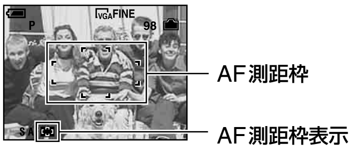
ヒストグラムは、明るさを示すグラフです。モードダイヤルを「P」かシーンセレクションのいずれかに合わせ、ボタンを繰り返し押すと、画面内に表示されます。表示が右寄りなら明るめの画像、左寄りなら暗めの画像です。ヒストグラムで露出を確認しながら[EV補正]します。

- 下記の場合もヒストグラムが表示されますが、[EV補正]はできません。
  - −モードダイヤルが「」、「M」の時
  - −静止画シングル画面再生時
  - −クイックレビュー時

→操作方法は26ページ

(フォーカス)

ピント合わせの方法を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。

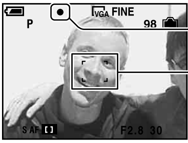
	∞(無限遠)	あらかじめ設定した距離にピントが合う。(フォーカスプリセット) • 網やガラス越しの撮影など、オートフォーカスが効きにくいときに便利です。
	7.0 m	
	3.0 m	
	1.0 m	
	0.5 m	
	中央重点AF( )	画面中央付近の被写体に自動ピント合わせする。 • 中央部分の被写体をねらってピント合わせをするときに便利です。AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。 
✓	**マルチAF** **(マルチポイントAF)** **(静止画のとき)** **(動画のとき)**	画面全体を基準に、自動ピント合わせする。 • 被写体が中央にない時などに便利です。 

- AFとは、「Auto Focus」の略で、自動ピント合わせ機能のこと。
- [フォーカスプリセット]の距離設定は多少の誤差を含みます。レンズを上や下に向けると誤差は大きくなります。
- シーンセレクションのモードで、選べる距離が制限されます(24ページ)。
- 動画撮影時は、[マルチAF]をおすすめします。手ぶれに強いためです。
- [デジタルズーム]や[AFイルミネーター]を使用するときは、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。この場合、 または は点滅し、AF測距枠は表示されません。

ピントが合わないときは

被写体がフレーム(画面)端にある場合や、[中央重点AF]設定の場合、フレーム端の被写体にピントが合わない場合があります。この場合、以下の方法を使います。

① 被写体がAF測距枠内に入るように構図を変え、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる(AFロック)。

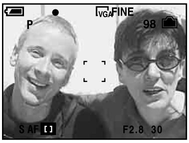


AE/AFロック表示

AF測距枠

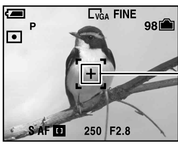
シャッターボタンを押し込む前なら、何回でもやり直せます。

② AE/AFロック表示が点滅→点灯に変わったら、半押しのまま構図を戻し、シャッターボタンを押し込んで撮影する。



(測光モード)

本機が自動で露出を決めるとき、画面のどの部分で光を測るか(測光)を設定します。

	スポット(スポット測光) **( )**	被写体の一部分だけで測光する。 • 逆光にある被写体や、背景と被写体のコントラストが強いときに便利です。  **スポット測光照準** 被写体をここに合わせる
	中央重点(中央重点測光) **( )**	画面の中央部に重点をおいて測光し、中央部付近の明るさを基準に露出を決める。
✓	**マルチ** **(マルチパターン測光)**	画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって自動調節する。

• 露出について→9ページ

• [スポット測光]や[中央重点測光]の場合、測光する場所とフォーカス位置を合わせたいときは、[ ](フォーカス)を[中央重点AF]にすることをおすすめします(29ページ)。

→操作方法は26ページ

WB(ホワイトバランス)

画像の色がおかしいと感じたときなどに、撮影場所の光の状況に合わせて調整します。

	WB(フラッシュ)	フラッシュ光に合わせる。 • 動画のときは選べません。
	(電球)	パーティ会場など、照明条件が変化するときや、スタジオなどビデオライトに合わせる。
	(蛍光灯)	蛍光灯の光に合わせる。
	(曇天)	曇り空に合わせる。
	(太陽光)	屋外や、夜景/ネオン/花火/日の出/日没前後などに合わせる。
✓	オート	ホワイトバランスを自動調節する。

- [ホワイトバランス]について→10ページ
- ちらつきのある蛍光灯下では、[ ](蛍光灯)を選んでもうまく合わないことがあります。
- [WB]以外のときフラッシュ発光して撮影すると、[ホワイトバランス]は[オート]になります。

ISO(ISO設定)

光に対する感度をISOという単位で設定します。数値が大きいほど高感度になります。

	400	暗い場所や高速で移動する被写体には大きい値を、高画質で撮るには小さい値を設定する。
	200	
	100	
✓	オート	

- [ISO]感度について→10ページ
- 高感度になるほどノイズ感が増します。
- シーンセレクションのときは、[ISO]は[オート]になります。

(画質)

静止画の圧縮率を選びます。

✓	ファイン(FINE)	高画質(低圧縮)で記録する。
	スタンダード(STD)	標準画質(高圧縮)で記録する。

- 画質について→11ページ

Mode（撮影モード）

シャッターを押し込んだとき、連写するかしないかを設定します。

	マルチ連写（）	シャッターボタンを押すと、1枚の静止画の中に16コマの画像を連続記録する。 • スポーツのフォームチェックなどに便利です。 • ［インターバル］（33ページ）で、コマ間のインターバル（間隔）を設定できます。
	連写（）	シャッターボタンを押し続けている間、最大連写枚数（次の表）まで連写する。 • 「記録中」という表示が消えると次の画像を撮影できます。
✓	**通常撮影**	連写しない。

［マルチ連写］について

- ［マルチ連写］した画像は、下記の手順で連続再生できます。
  一時停止/再開：コントロールボタンの●を押す。
  1コマずつ再生：一時停止状態で◀/▶を押す。●を押すと連続再生に戻る。
- ［マルチ連写］では、以下の操作ができません。
  －スマートズーム
  －フラッシュ撮影
  －日付・時刻の挿入
  －連写画像の分割/希望のコマのみの削除
  －モードダイヤルが「」のとき、［インターバル］を［1/30］以外に設定すること
  －モードダイヤルが「M」のとき、シャッタースピードを、1/30秒よりも遅くすること
- ［マルチ連写］した画像をパソコンで再生すると、撮影された16コマが1枚の画像として同時に表示されます。マルチ連写機能のないカメラで再生した場合も同様です。
- ［マルチ連写］の画像サイズは1Mとなります。
- シーンセレクションのモードによっては［マルチ連写］できない場合があります（24ページ）。

［連写］について

- フラッシュは （発光禁止）になります。
- セルフタイマーで［連写］すると、最大5枚の連続撮影となります。
- モードダイヤルが「M」の状態で［連写］するとき、1/6秒またはそれよりも遅いシャッタースピードは選べません。
- 電池の残量が少ない、または内蔵メモリー / “メモリースティック” の容量がいっぱいになると、［連写］は停止します。
- シーンセレクションのモードによっては［連写］できない場合があります（24ページ）。

最大連写枚数　　（枚）

	DSC-W5		DSC-W7	
画質 / サイズ	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
7M	–	–	5	8
3:2	–	–	5	8
5M	9	15	6	11
3:2	9	15	–	–
3M	13	24	9	17
1M	32	59	22	41
VGA（Eメール）	100	100	85	100

（インターバル）

［マルチ連写］（32ページ）のコマ間のインターバル（間隔）を設定します。

	1/7.5（1/7.5"）	• ［Mode］が［マルチ連写］以外のときは設定できません（32ページ）。
	1/15（1/15"）	
✔	1/30（1/30"）	

±（フラッシュレベル）

フラッシュの発光量を調節します。

	＋（＋）	＋側：発光量を増やす。
✔	**標準**	
	－（－）	－側：発光量を減らす。

• フラッシュモードの切り換え→*別冊「はじめに」手順5*

PFX（P.エフェクト）（ピクチャーエフェクト）

P M

設定してから撮影すると、特殊効果を加えて撮影できます。

	モノトーン（P✦）	画面を白黒にする。
	セピア（P✦）	古い写真のような色合いにする。
✓	**切**	特殊効果を加えない。

• 電源を切ったあとは保持されません。

（彩度）

P M

撮影する画像のあざやかさ（彩度）を変えます。

	＋（）	＋側：鮮やかな色合いにする。
✓	**標準**	
	−（）	−側：落ち着いた色合いにする。

◑（コントラスト）

P M

撮影する画像の明暗の比（コントラスト）を変えます。

	＋（◑）	＋側：画像の明暗比が増す。
✓	**標準**	
	−（◑）	−側：画像の明暗比が減る。

（シャープネス）

P M

撮影する画像の鮮鋭度（シャープネス）を変えます。

	＋（）	＋側：画像のくっきり感が増す。
✓	**標準**	
	−（）	−側：落ち着いた画像にする。

（セットアップ）

P M

42ページをご覧ください。

再生時に使うメニュー

→操作方法は26ページ

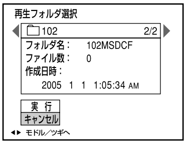
お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

(フォルダ)

再生したい画像の入っているフォルダを選びます（“メモリースティック”使用時のみ）。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	フォルダ選択をやめる。

① コントロールボタンの◀/▶で再生したい画像が入っているフォルダを選ぶ。



② ▲を押して[実行]を選び、中央の●を押す。

「フォルダ」について

本機は撮影した画像を“メモリースティック”の特定のフォルダに記録します（48ページ）。このフォルダを変更したり、新規で作成したりできます。

- フォルダを作成するには→[記録フォルダ作成]（48ページ）
- 記録先のフォルダを変更するには→[記録フォルダ変更]（49ページ）
- “メモリースティック”に複数のフォルダがあるときは、フォルダ内の最初／最後の画像に下記のマークが表示されます。

  ：前のフォルダに移動可能

  ：後ろのフォルダに移動可能

  ：前/後のフォルダに移動可能

(プロテクト)

画像を誤って消さないように保護（プロテクト）します。

✓	**プロテクト()**	下記の手順をご覧ください。
	終了	プロテクト操作を終了する。

シングル画面でプロテクトするには

① プロテクトしたい画像を表示する。

② MENUボタンを押し、メニューを表示する。

③ コントロールボタンの◀/▶で[⊶]（プロテクト）を選び、中央の●を押す。
画像がプロテクトされ、⊶マークが付く。



④ 他の画像もプロテクトしたいときは、◀/▶で画像を表示し、中央の●を押す。

インデックス画面でプロテクトするには

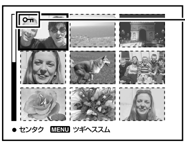
① ▦（インデックス）ボタンを押して、インデックス画面にする。

② MENUボタンを押し、メニューを表示する。

③ コントロールボタンの◀/▶で[⊶]（プロテクト）を選び、中央の●を押す。

④ ▲/▼で[選択]を選び、中央の●を押す。

⑤ プロテクトしたい画像を▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す。
画像に緑色の⊶マークが付く。



⑥ 他の画像もプロテクトしたいときは、手順⑤を繰り返す。

⑦ MENUボタンを押す。

⑧ ▶で[実行]を選び、中央の●を押す。
⊶マークが白色に変わり、プロテクトされる。

- フォルダ内の全画像をプロテクトするには、手順④で[フォルダ内全て]を選んで中央の●を押し、次に▶で[入]を選んで●を押す。

プロテクトを解除するには

シングル画面で解除するには

「シングル画面でプロテクトするには」の手順③または④で中央の●を押す。

インデックス画面で解除するには

① 「インデックス画面でプロテクトするには」の手順⑤で解除したい画像を選ぶ。

② 中央の●を押して、○━マークをグレーにする。

③ 同じ操作を解除したいすべての画像について繰り返す。

④ MENUボタンを押して、▶で[実行]を選び、中央の●を押す。

フォルダ内全画像のプロテクトを解除するには

「インデックス画面でプロテクトするには」の手順④で[フォルダ内全て]を選んで中央の●を押し、次に▶で[切]を選んで●を押す。

- フォーマットするとプロテクトした画像も削除され元に戻せません。
- プロテクトには時間がかかる場合があります。

DPOF

プリントしたい画像にプリント予約マーク(🖨✓)を付けます(73ページ)。

🖨(プリント)

69ページをご覧ください。

(スライドショー)

撮影した画像を連続再生します(スライドショー)。

間隔設定

✓	3秒	画面切り換えの間隔。
	5秒	
	10秒	
	30秒	
	1分	

再生画像

✓	フォルダ内	選択中のフォルダ内の画像を順番に再生する。
	全て	“メモリースティック”内のすべての画像を順番に再生する。

繰り返し

✓	**入**	繰り返しスライドショーする。
	切	1回スライドショーする。

	スタート	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	スライドショー操作をやめる。

① コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で[間隔設定]、[再生画像]、[繰り返し]を設定する。

② ▼/▶で[スタート]を選び、中央の●を押す。
スライドショーが始まる。

終了するには、中央の●を押し、▶で[終了]を選び、●を押す。

- スライドショー再生中に、◀/▶ボタンを押すと、画像を戻す/送ることができます。
- [間隔設定]の設定時間は画像サイズなどにより変わることがあります。

（リサイズ）

撮影した画像のサイズを変えて（リサイズ）、新しいファイルとして記録します。元の画像はそのまま残ります。

	7M（DSC-W7のみ）	[画像サイズ]の選択のめやす→*別冊「はじめに」手順4*
	5M	
	3M	
	1M	
	VGA	
✓	**キャンセル**	リサイズを中止する。

① サイズを変更したい画像を表示する。

② MENUボタンを押し、メニューを表示する。

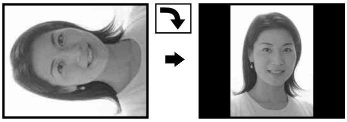
③ コントロールボタンの◀/▶で[ ]（リサイズ）を選び、中央の●を押す。

④ ▲/▼で変更したいサイズを選び、中央の●を押す。
リサイズした画像が選択中の記録フォルダに一番新しいファイルとして記録される。

- [画像サイズ]→*別冊「はじめに」手順4*
- 動画/[マルチ連写]画像はリサイズできません。
- 小さいサイズから大きいサイズにリサイズすると、画像が劣化します。
- 横縦比3:2の画像サイズにはリサイズすることはできません。
- 横縦比3:2の画像はリサイズすると画像の上下に黒帯が入ります。

→操作方法は26ページ

(回転)



静止画像を左右に回転します。

	↶ ↷	画像を回転する。下記の手順をご覧ください。
	実行	画像の回転を確定する。下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	[回転]を中止する。

① 回転させたい画像を表示する。

② MENUボタンを押し、メニューを表示する。

③ コントロールボタンの◀/▶で[ ](回転)を選び、中央の●を押す。

④ ▲で[↶ ↷]を選び、◀/▶で画像を回転させる。

⑤ ▲/▼で[実行]を選び、中央の●を押す。

- プロテクトされている画像、動画、[マルチ連写]画像は回転できません。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見るとき、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

(分割)

撮影した動画を分割したり、不要な部分を削除できます。内蔵メモリーまたは“メモリースティック”の容量が足りないときやEメールで動画を送るときに便利です。

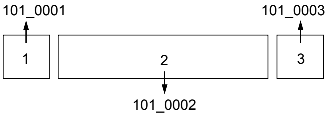
- 分割する前の動画は削除され、そのファイル番号は欠番となります。また、1度分割した動画を元に戻すことはできません。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	分割を中止する。

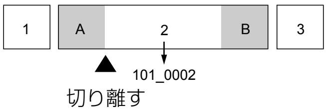
 →操作方法は26ページ

例：101_0002の動画を分割した場合

下記のようなファイル構成のときにファイル名101_0002の動画ファイルを分割、削除する場合を例に説明する。

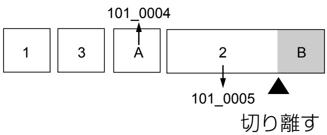


1 シーンAを切り離す。



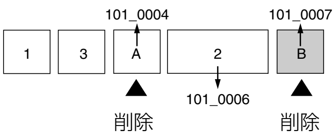
101_0002が、分割されて101_0004と101_0005になる。

2 シーンBを切り離す。

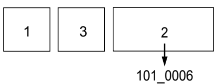


101_0005が分割されて、101_0006と101_0007になる。

3 シーンAとBは不要なので削除する。



4 必要なシーン101_0006だけが残る。



操作方法

① 分割したい動画を表示する。

② MENUボタンを押し、メニューを表示する。

③ コントロールボタンの▶で[✂]（分割）を選び、中央の●を押す。

④ ▲を押して[実行]を選び、中央の●を押す。

動画が再生される。

⑤ 分割したい位置で中央の●を押す。



• 分割する位置を微調節したいときは、[◀II/II▶]（コマ戻し/コマ送り）を選び、◀/▶で微調節する。
• 分割する場所を選び直すときは、[キャンセル]を選び、動画再生を再開する。

⑥ ▲/▼で[実行]を選び、中央の●を押す。

⑦ ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
動画が分割される。

• 分割後のファイル番号は、例のようになります。分割された動画は選択している記録フォルダに一番新しいファイルとして記録されます。

• 下記の画像は分割できません。
– 静止画
– 分割できる充分な長さ（約2秒間）のない動画
– プロテクトされている動画（35ページ）

(セットアップ)

42ページをご覧ください。

トリミング

拡大再生（→*別冊「はじめに」手順6*）した画像を新しいファイルとして記録します。

	トリミング	下記の手順をご覧ください。
✓	**戻る**	トリミングを中止する。

① 拡大再生中にMENUボタンを押し、メニューを表示する。

② コントロールボタンの▶で[トリミング]を選び、中央の●を押す。

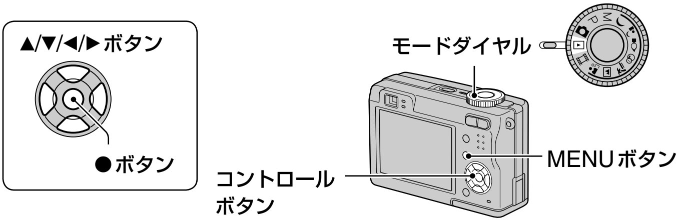
③ ▲/▼で画像サイズを選び、中央の●を押す。
画像が記録され、拡大前の画像表示に戻る。

• トリミングした画像は一番新しいファイルとして記録され、元の画像はそのまま残ります。
• トリミングした画像は画質が劣化する場合があります。
• 3:2の画像サイズにトリミングすることはできません。
• クイックレビューで表示した画像はトリミングできません。

メニューを使う

セットアップ画面の操作方法

(セットアップ)画面を使うと、本機のお買い上げ時の設定を変更できます。



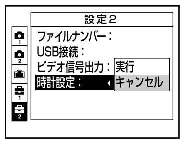
1 電源を入れる。

2 MENUボタンを押し、メニューを表示する。

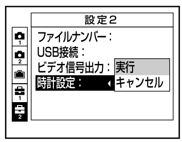
3 コントロールボタンの▶を押し、(セットアップ)を選ぶ。

4 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押し、設定したい項目を選ぶ。

選ばれた設定の枠が黄色に変わる。



5 中央の●を押して設定(実行)する。



(セットアップ)画面を終了するには、MENUボタンを押す。

設定変更を中止するには

[キャンセル]が選択項目にある場合は，それを選んでコントロールボタン中央の●を押す。ない場合は、設定し直す。

• 設定は、電源を切ってからも保持されます。

カメラ1

→操作方法は42ページ

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

AFモード

自動ピント合わせ(オートフォーカス)の種類を選びます。

✓	**シングル(S AF)**	シャッターボタンを半押しすると自動ピント合わせする。動きのない被写体を撮影するときに便利。
	モニタリング(M AF)	シャッターボタンを半押しする前から自動ピント合わせする。ピント合わせの時間を短くできる。 • [シングル]よりも電池の消耗が早くなります。

• 液晶画面をオフにしてファインダーで撮影すると、[シングル] AF動作となります。

デジタルズーム

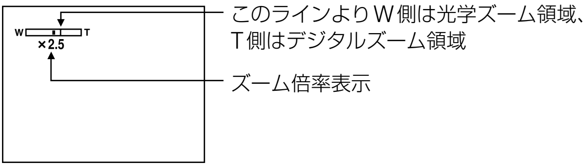
デジタルズームの設定をします。本機はレンズの倍率(3倍)まで光学ズームを行い、それを超えるとスマート/プレシジョンいずれかのデジタルズームを行います。

✓	**スマート (スマートズーム) (SQ×)**	画像サイズに応じて、画像が劣化しない範囲内にデジタルズーム倍率を制限します。[7M](DSC-W7)[5M](DSC-W5)、[3:2]のときは使用できません。 • [スマートズーム]の最大倍率は、下表をご覧ください。
	プレシジョン (プレシジョンデジタルズーム)(PQ×)	画像サイズの設定に関わらず、最大6倍までデジタルズームしますが、画像は劣化します。
	切(×)	デジタルズームを使わない。

[スマートズーム]の画像サイズと最大倍率

	DSC-W5	DSC-W7
画像サイズ	**最大倍率**	**最大倍率**
5M	–	約3.6倍
3M	約3.8倍	約4.5倍
1M	約6.1倍	約7.2倍
VGA(Eメール)	約12倍	約14倍

• ズームボタンを押すと、下記のようなズーム倍率が表示されます。



• スマートズーム/プレシジョンデジタルズームの最大倍率は、光学ズームの倍率を含みます。
• デジタルズーム時はAF測距枠は表示されません。 または が点滅し、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
• スマートズーム時に画面の画像が粗く見える場合がありますが、撮影される画像には影響ありません。

日付/時刻

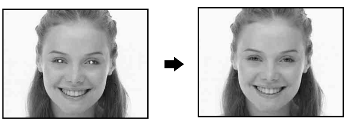
撮影時に画像に挿入する日付/時刻情報の形式を設定します。設定後、撮影します。

• 撮影時は日時は表示されず、DATE が表示されます。再生時に画面右下に赤色で表示されます。

	日時分	撮影日時分を入れる。
	年月日	撮影年月日を入れる。 • →*別冊「はじめに」手順2*で選んだ表示順に挿入されます。
✓	**切**	日時を入れない。

• 動画 / ［マルチ連写］では、挿入できません。
• 挿入した日時は、後で消去できません。

赤目軽減



フラッシュ撮影時、目が赤く写るのを抑制します。設定後、撮影します。

	入（👁）	赤目軽減する。 • フラッシュが2回以上予備発光します。
✓	**切**	赤目抑制しない。

• シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
• 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。

AFイルミネーター

AFイルミネーターとは、暗所でフォーカスを合わせるための補助光です。シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間、自動的に赤い補助光が出て、フォーカスを合わせやすくします。このとき画面に☀ON が表示されます。

✓	**オート**	AFイルミネーターを使う。
	切	使わない。

- AFイルミネーターを発光しても、充分な光が被写体に届かない場合（推奨距離：約3.5 m（ズーム：W）まで／約2.5 m（ズーム：T）まで）やコントラストが弱い被写体を撮影する場合、フォーカスは合いません。
- AFイルミネーターの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。
- フォーカスプリセット（29ページ）のとき、[AFイルミネーター]は使えません。
- AF測距枠は表示されません。[ ] または [ ] が点滅し、中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- シーンセレクションが☽（夜景モード）、▲（風景モード）に設定されているときは、AFイルミネーターは発光しません。
- AFイルミネーターは明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。

オートレビュー

静止画撮影直後に、記録した画像を約2秒間画面に表示します。

✓	**入**	オートレビューを使う。
	切	使わない。

- オートレビュー表示中は次の撮影はできません。シャッターボタンを半押しすると記録画像の表示が消え、すぐに次の撮影ができます。

カメラ2

→操作方法は42ページ

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

アイコン拡大

(フラッシュモード)/(セルフタイマー)/(マクロ)を押したとき、設定を一時的に拡大します。

✓	**入**	拡大する。
	切	拡大しない。

内蔵メモリーツール

→操作方法は42ページ

“メモリースティック”が本機に入っている場合は表示されません。
お買い上げ時の設定は✓で示しています。

フォーマット

内蔵メモリーをフォーマット（初期化）します。

• フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	フォーマットを中止する。

① コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す。
「内蔵メモリーのデータがすべて消去されます　よろしいですか？」というメッセージが表示される。

② ▲で［実行］を選び、中央の●を押す。
フォーマットが実行される。

メモリースティックツール

→操作方法は42ページ

“メモリースティック”が本機に入っている場合のみ表示されます。
お買い上げ時の設定は✓で示しています。

フォーマット

“メモリースティック”をフォーマット(初期化)します。市販の“メモリースティック”はフォーマット済みのため、フォーマットの必要はありません。

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	フォーマットを中止する。

① コントロールボタンの▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
「メモリースティックのデータがすべて消去されます　よろしいですか？」というメッセージが表示される。

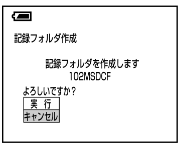
② ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
フォーマットが実行される。

記録フォルダ作成

“メモリースティック”の中に新しいフォルダを作成します。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	記録フォルダ作成を中止する。

① コントロールボタンの▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
記録フォルダ作成画面が表示される。



② ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
既存番号+1のフォルダが作成される。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダに記録される。

- フォルダについては、35ページで説明しています。
- フォルダを新規作成していない場合は、「101MSDCF」フォルダが記録フォルダとして設定されます。

→操作方法は42ページ

- フォルダは最高で「999MSDCF」まで作成できます。
- 画像は、違うフォルダを選ぶか、更に新しいフォルダを作成するまでそのフォルダに記録されます。
- 一度作成したフォルダを本機では削除できないため、パソコンなどで削除してください。
- 一つのフォルダに記録できる画像は最大4000枚のため、フォルダ容量を超えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。
- 「画像ファイルの保存先とファイル名」（61ページ）もご覧ください。

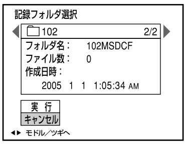
記録フォルダ変更

画像を記録するフォルダを変更します。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	記録フォルダ変更を中止する。

① コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す。

記録フォルダ選択画面が表示される。



② ◀/▶で記録フォルダを選び、▲で［実行］を選び、中央の●を押す。

- 「100MSDCF」フォルダは記録フォルダとして選べません。
- 記録した画像を別のフォルダには移動できません。

コピー

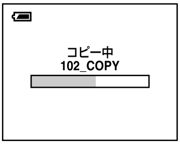
内蔵メモリーに記録した画像を、“メモリースティック”に一括コピーします。

	実行	下記の手順をご覧ください。
✓	**キャンセル**	コピーを中止する。

① 32MB以上の容量のある“メモリースティック”を本体に入れる。

② コントロールボタンの▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
「内蔵メモリーのデータがすべてコピーされます　よろしいですか？」というメッセージが表示される。

③ ▲で[実行]を選び、中央の●を押す。
コピーが実行される。



- 充分に充電したニッケル水素電池またはACアダプター（別売り）をご使用ください。残量の少ない電池を使用して画像ファイルをコピーすると、電池切れのため、データを転送できなかったり、データを破損する恐れがあります。
- 画像ごとのコピーはできません。
- データをコピーしても、内蔵メモリー内のデータは削除されません。内蔵メモリーの内容を消去するには、コピー後に“メモリースティック”を本体から取りはずし、内蔵メモリーツールの[フォーマット]を行ってください（47ページ）。
- “メモリースティック”内のフォルダを選ぶことはできません。
- データのコピーを行うと、設定済みの（プリント予約）は消去されます。

設定1

→操作方法は42ページ

お買い上げ時の設定は✓で示しています。

LCDバックライト

LCD（画面）バックライトの明るさを設定します（電池使用時のみ）。

	明	明るくする。
✓	**標準**	
	暗	暗くする。

• ［明］に設定すると、電池の消耗は早くなります。

操作音

本機を操作したときに鳴るブザーを設定します。

	シャッター	シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。
✓	**入**	コントロールボタン／シャッターボタンを押したときなどに、ブザー／シャッター音が鳴る。
	切	音は鳴らない。

言語

メニュー/警告表示などの表示言語を選びます。

✓	**日本語**	日本語で表示。
	English	英語で表示。

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。

	実行	設定をリセットする。
✓	**キャンセル**	設定リセットを中止する。

① コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す。
「すべての設定内容をリセットします　よろしいですか？」というメッセージが表示される。

② コントロールボタンの▲で［実行］を選び、中央の●を押す。
設定リセットが実行される。

• 設定リセット中は電源が切れないようにしてください。

設定2

→操作方法は42ページ

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

ファイルナンバー

撮影画像のファイルナンバーの付けかたを設定します。

✓	**連番**	記録フォルダを変更したり、"メモリースティック"を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。(取り換えた"メモリースティック"内に最新ファイルより大きな番号のファイルがある場合は、既存の最大番号+1のファイル番号をつける。)
	リセット	フォルダごとにファイル番号を0001から付ける。(記録フォルダ内にファイルがある場合は、既存最大番号+1のファイル番号を付ける)。

USB接続

本機とパソコンまたはPictBridge対応プリンターをUSBケーブルで接続するときのモードを設定します。

	PictBridge	本機とPictBridgeプリンターを接続する(69ページ)。
	PTP	PTP(Picture Transfer Protocol)接続すると、コピーウィザードが自動的に起動し、本機に設定されている記録フォルダ内の画像をパソコンにコピーします。(WindowsXP、Mac OSXに対応)
✓	標準	本機とパソコンをUSB接続する(57ページ)。

ビデオ信号出力

接続するビデオ機器に合わせて設定します。

✓	NTSC	ビデオ信号出力をNTSCモードに設定する(日本、米国など)。
	PAL	ビデオ信号出力をPALモードに設定する(欧州など)。

→*操作方法は42ページ*

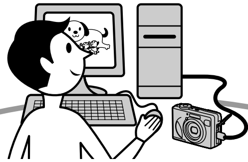
時計設定

時刻を再設定します。

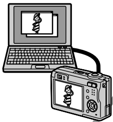
	実行	コントロールボタンの▲で[実行]を選び、中央の●を押す。その後、時計合わせの手順(→*別冊「はじめに」手順2*)を行う。
✓	**キャンセル**	時計設定を中止する。

Windowsパソコンでできること

Macintoshについては、「Macintoshをお使いのときは」をご覧ください（65ページ）。



まずはパソコンに画像を取り込もう！（56ページ）



画像をパソコンで見る

必要な準備

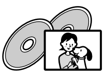
USBドライバをインストールする。

- WindowsXPでは不要です。

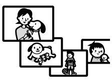
PicturePackageで活用の幅を広げよう！（63ページ）



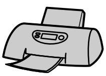
パソコン内の画像を見る



CD-Rに画像を保存する



Myビデオ＆Myスライドショーを自動作成する

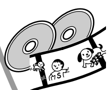


プリントする

必要な準備

PicturePackageをインストールする。（63ページ）

ImageMixerでビデオCDづくりに挑戦！（63ページ）



ビデオCDを作成する

必要な準備

ImageMixer VCD2は、PicturePackageをインストールすると、同時に自動でインストールされます。

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

画像を取り込むときの推奨環境

OS(工場出荷時にインストールされていること): Microsoft Windows 98/98SE/2000 Professional/Millennium Edition/XP Home Edition/XP Professional

- 上記のOSでもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

CPU: MMX Pentium 200 MHz以上

USB端子: 標準装備

ディスプレイ: 800×600ドット以上、High Color(16bitカラー、65000色)以上

Picture Package/ImageMixer VCD2使用時の推奨環境

必要なソフトウェア: Macromedia Flash Player 6.0以降、Windows Media Player 7.0以降、DirectX 9.0b以降。

サウンドカード: 16 bitステレオサウンドカードおよびスピーカー

メモリ: 64 MB以上(128 MB以上を推奨)

ハードディスク: インストール時に必要な容量:約500 MB

ディスプレイ: 4 MBのVRAMを搭載したビデオカード(Direct Drawドライバに対応)

- Myビデオ&Myスライドショーを自動作成する場合は(63ページ)、Pentium III 500 MHz以上のCPUが必要です。
- ImageMixer VCD2を使う場合は、Pentium III 800 MHz以上を推奨します。
- 本ソフトウェアはDirectXテクノロジーに対応しているため、DirectXのインストールが必要になることがあります。
- CD-Rに書き込みを行う場合には、記録デバイスを動作する環境が別途必要です。

パソコン接続についてのご注意

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- Hi-Speed USB(USB2.0準拠)のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送(high-speed転送)が行えます。
- パソコンと接続するときの本機のUSBモードには[標準](お買い上げ時の設定)と[PTP]の2種類あります。ここでは[標準]での使いかたを説明します。[PTP]については、52ページをご覧ください。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページでは、パソコンとの接続方法や最新サポート情報をご覧いただけます。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

画像をパソコンに取り込む

ここでは、Windowsパソコンでの手順を説明します。
本機の画像をパソコンに取り込むには、下記の方法があります。

"メモリースティック"スロット付きパソコンの場合：
本機から"メモリースティック"を取りはずして、パソコンに挿入して、画像データをコピーする。

"メモリースティック"スロットなしのパソコンの場合：
56 ～ 60ページ記載の操作1 ～ 5で、画像をパソコンにコピーできます。

- 画面の例は"メモリースティック"の画像をパソコンへコピーするときのものです。

パソコンとの接続方法や最新サポート情報は、デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

操作1：USBドライバをインストールする

98 | 98SE | 2000 | Me

- ドライバとは、接続機器を正しく動かすためのソフトウェアです。
- WindowsXPのときは、操作1は不要です。
- すでにパソコンにPicturePackageがインストールされている場合は、操作1は不要です。

ご注意：この時点では、本機をパソコンにつながないでください。

1 使用中のソフトウェアをすべて終了させる。

- Windows2000は、Administrator(管理者権限)でログオンする。

2 CD-ROMをパソコンに入れ、インストール画面が表示されたら、「USB Driver」をクリック。



「Sony USB Driver用のInstallShieldウィザードへようこそ」画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、[マイコンピュータ]→ (PICTURE PACKAGE)の順にダブルクリック。

3 [次へ]をクリック。



USBドライバのインストールが始まる。インストールが終了すると、「InstallShieldウィザードの完了」画面が表示される。

4 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。]の ○ をクリックして ⊙にし、[完了]をクリック。



パソコンが再起動して、本機とパソコンがUSB接続できるようになる。

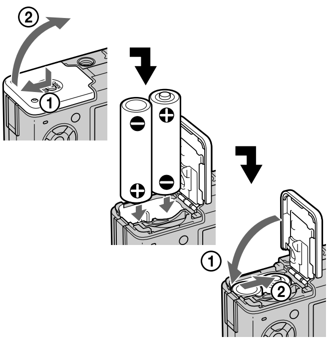
インストールが終了したら、パソコンからCD-ROMを取り出す。

操作2：本機とパソコンを準備する

1 画像を記録した"メモリースティック"を本機に入れる。

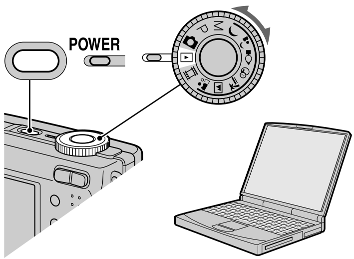
- 内蔵メモリーの画像をコピーする場合は、手順1は不要です。

2 充分に充電したニッケル水素電池を本機に入れる、または別売りのACアダプターで本機とコンセントをつなぐ。

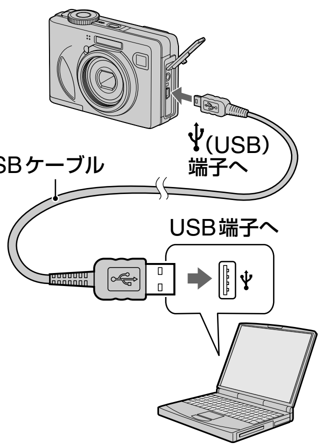


- 残量が少ない電池を使用して画像をコピーすると、電池切れのため、データを転送できなかったり、データを破損する恐れがあります。

3 モードダイヤルを「▶」にして、本機とパソコンの電源を入れる。

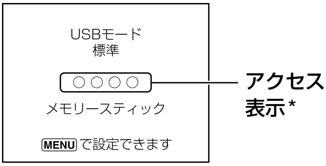


操作3：本機とパソコンをつなぐ



- Windows XPの場合は、パソコンの画面に自動再生ウィザードが表示されます。

本機の画面に「USBモード標準」と表示される。



初回接続時のみ、パソコンが本機を認識するための作業を自動的に行います。作業が終わるまでお待ちください。

* 通信中はアクセス表示が赤色になります。白色になるまで、パソコンの操作をしないでください。
• 画面に「USBモード標準」と表示されないときは、本機の[USB接続]を[標準]に設定してください(52ページ)。

操作4-A:画像をパソコンに取り込む

XP

• Windows98/98SE/2000/Me使用時:
→「操作4-B:画像をパソコンに取り込む」(59ページ)

ここでは、パソコンの「マイドキュメント」に画像を取り込む例を説明します。

1 「操作3」で接続完了後、パソコンで自動再生ウィザードが起動するので、[コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする。Microsoftスキャナとカメラウィザード使用]→[OK]の順にクリック。



「スキャナとカメラウィザードの開始」画面が表示される。

2 [次へ]をクリック。

本機の"メモリースティック"に記録されている画像が表示される。

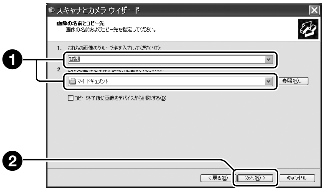
• "メモリースティック"が入っていないときは、内蔵メモリーの画像が表示されます。

3 パソコンにコピーしない画像の ☑ をクリックして ☐ にし、[次へ]をクリック。



「画像の名前とコピー先」画面が表示される。

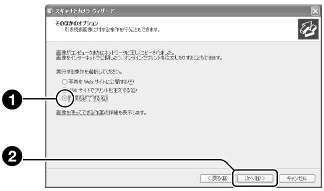
4 画像の名前とコピー先を指定し、[次へ]をクリック。



画像のコピーが終了すると、「そのほかのオプション」画面が表示される。

- ここでは、画像のコピー先を「マイドキュメント」にしています。

5 [作業を終了する]の ○ をクリックして ⊙ にし、[次へ]をクリック。



「スキャナとカメラウィザードの完了」画面が表示される。

6 [完了]をクリック。

ウィザード画面が閉じる。

- 続けて画像をコピーしたい場合は、60ページの手順で、USBケーブルを1度抜き差しして、「操作3：本機とパソコンをつなぐ」から行う。

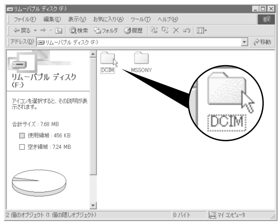
操作4-B：画像をパソコンに取り込む

98 **98SE** **2000** **Me**

- WindowsXP使用時：➔「操作4-A：画像をパソコンに取り込む」（58ページ）

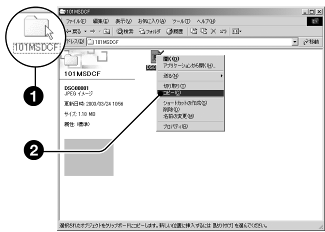
ここでは、パソコンの「マイドキュメント」に画像を取り込む例を説明します。

1 [マイコンピューター]→[リムーバブルディスク]→[DCIM]の順にダブルクリック。



- リムーバブルディスクが表示されないときは、82ページをご覧ください。

2 取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリック。次に、取り込みたい画像ファイルを右クリックしてメニューを表示し、[コピー]をクリック。



- 画像ファイルの保存先については、61ページをご覧ください。

3 **[マイドキュメント]フォルダをダブルクリックして開く。**
次に、右クリックでメニューを表示し、[貼り付け]を選ぶ。



「マイドキュメント」フォルダに画像がコピーされる。

- コピー先に同じファイル名の画像があるときは、元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。
  上書きすると、元のファイルデータは消えます。上書きしない場合は、ファイル名を希望の名称に変更してからコピーします。ただし、ファイル名を変更すると本機で再生（62ページ）できなくなる場合があります。

操作5：パソコンで画像を見る

「マイドキュメント」に保存された画像を見ます。

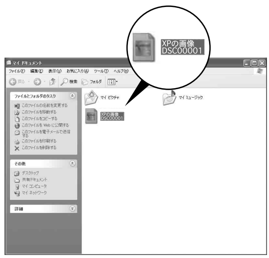
1 **[スタート]→[マイドキュメント]をクリック。**



「マイドキュメント」フォルダの内容が表示される。

- Windows XP以外の場合は、デスクトップ画面上の[マイドキュメント]をダブルクリックする。

2 **見たい画像ファイルをダブルクリック。**



画像が表示される。

パソコンとの接続を切断するには

以下のときは、ここで説明する手順に従って操作します。

- USBケーブルを抜く
- “メモリースティック”を取り出す
- 内蔵メモリーからのコピーを終了して、“メモリースティック”を入れる
- 本機の電源を切る

■Windows 2000/Me/XPの場合

① タスクトレイの をダブルクリック。



ここをダブルクリック

②(Sony DSC)→[停止]をクリック。

③ 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリック。

④ [OK]をクリック。

- Windows XPをお使いの方は、手順④は不要です。

⑤ USBケーブルを抜く、"メモリースティック"を取り出す、または本機の電源を切る。内蔵メモリーからパソコンへのコピー後に"メモリースティック"からのコピーをする場合は、"メモリースティック"を入れる。

■Windows 98/98SEの場合

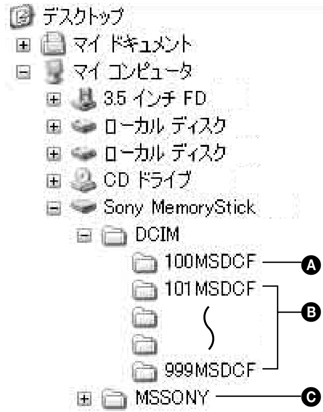
① アクセス表示(58ページ)が白色になっていることを確認する。

② USBケーブルを抜く、"メモリースティック"を取り出す、または本機の電源を切る。内蔵メモリーからパソコンへのコピー後に"メモリースティック"からのコピーをする場合は、"メモリースティック"を入れる。

画像ファイルの保存先とファイル名

本機で撮影した画像ファイルは、"メモリースティック"内のフォルダにまとめられています。

WindowsXPの例



A フォルダ作成機能のないカメラで撮影した画像ファイルのフォルダ。

B 本機で撮影した画像ファイルのフォルダ。新しくフォルダ作成していない場合は、「101MSDCF」のみ。内蔵メモリーは「101_SONY」のみ。

C フォルダ作成機能がないカメラで撮影した動画データなどのフォルダ。

- 「100MSDCF」または「MSSONY」のフォルダには本機で画像を記録できません。再生のみ可能です。
- フォルダについては、35、48ページをご覧ください。
- 画像ファイル名は、下記のようになります。□□□□は0001 ～ 9999の半角数字、動画ファイルとそのインデックス画像ファイル名の数字部分は同じです。
  - 静止画ファイル:DSC0□□□□.JPG
  - 動画ファイル:MOV0□□□□.MPG
  - 動画撮影時に記録されるインデックス画像ファイル:MOV0□□□□.THM

パソコン内の画像を本機で見る（“メモリースティック”使用）

ここでは、Windowsパソコンでの手順を説明します。
パソコンにコピー後、“メモリースティック”から消去した画像をもう1度本機で見るには、パソコンから“メモリースティック”に画像をコピーしてから本機で再生します。

- 本機設定のファイル名を変更していない場合、手順1は必要ありません。
- 画像サイズによっては再生できない画像があります。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生を保証しません。
- フォルダがない場合は、まず本機でフォルダを作成してから（48ページ）画像ファイルのコピーを行ってください。

1 画像ファイルを右クリックし、[名前の変更]をクリックする。ファイル名を「DSC0□□□□」に変更する。

□□□□には、0001から9999までの半角数字を入れる。

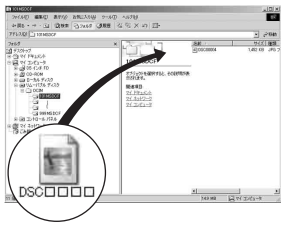


- 上書きの警告が出た場合は、別の数字を入れ直してください。
- パソコンによっては、静止画の拡張子「JPG」、動画の拡張子「MPG」が表示されます。拡張子は変更しないでください。

2 下記の手順で、ファイルを“メモリースティック”内のフォルダにコピーする。

① 画像を右クリック→[コピー]をクリック。
② [マイコンピュータ]内の「リムーバブルディスク」または「SonyMemoryStick」をダブルクリック。
③ 「DCIM」フォルダ内の[□□□MSDCF]フォルダを右クリックし、[貼り付け]をクリック。

- □□□には、100 ～ 999までの半角数字が入る。



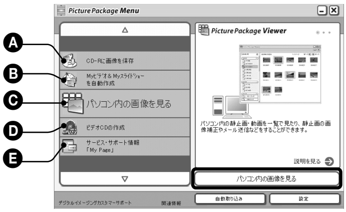
付属のソフトウェアで楽しむ

ここでは、Windowsパソコンの手順を説明します。

付属ソフトウェアのご紹介

付属のCD-ROMには、PicturePackage、ImageMixer VCD2の2つのソフトウェアが収録されています。

PicturePackage



[できること]

A CD-Rに画像を保存
B Myビデオ＆Myスライドショーを自動作成
C パソコン内の画像を見る
D ビデオCDの作成
ImageMixer VCD2の画面が表示されます。
E サービス・サポート情報「My Page」

[各機能のはじめかた]

A～Eのいずれかをクリックで選び、次に画面右下のボタンをクリックする。

ソフトウェアをインストールする

下記の手順で、PicturePackage/ImageMixer VCD2ソフトウェアをインストールします。

- WindowsXP以外で、USBドライバをインストール（56ページ）していない場合は、インストール前に本機をパソコンに接続しないでください。
- Windows2000の場合はAdministrator（管理者権限）、WindowsXPをお使いの場合はコンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- “PicturePackage”のインストールを行うと、USBドライバのインストールも同時に行えます。
- Windows 98/Windows 98SEで、DVgate Ver.2.3より以前のバージョンがインストールされているバイオに、DirectX 9以降のDirectXをインストールすると、DVgateやDVgate motionを正常に使用できません。PicturePackageをインストールすると、同時にDirectX 9もインストールされるためです。今後もDVgateを使用する場合は、PicturePackageをインストールしないように、ご注意ください。

詳しくは下記URLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

1 パソコンの電源を入れた状態で、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

- インストール画面が表示されないときは、[マイコンピュータ]→ (PICTURE PACKAGE)の順にダブルクリック。

2 [PicturePackage]をクリックする。



言語の選択画面が表示される。

3 [日本語]を選び、[次へ]を2回クリックする。

使用許諾画面が表示される。
内容をよく読み、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ、[次へ]をクリック。

4 以降、画面の指示に従ってインストールを進める。

- 「ImageMixer VCD2」、「DirectX」（インストールされていない場合のみ）も連続してインストールされます。
- パソコンの再起動を求める画面が表示されたら、画面の指示に従って再起動してください。

5 インストール後、デスクトップ上に「PicturePackage Menu」とPicturePackage保存先フォルダのショートカットが表示されたら、パソコンからCD-ROMを取り出す。

ソフトウェアを起動するには

デスクトップ上の「PicturePackage Menu」のアイコンをダブルクリック。

ソフトウェアの使いかたを調べるには

各画面右上の[？]をクリックして表示されるヘルプを参照する。

PicturePackage / ImageMixer VCD2に関するお問い合わせ・サポートは、ピクセラユーザーサポートセンターに委託しています。

ピクセラユーザーサポートセンター
電話：06-6633-3900
受付時間：月～日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く。）
URL：http://www.ppackage.com/

Macintoshをお使いのときは

Macintoshに画像を取り込んで見たり、「ImageMixer VCD2」(付属)を使ってビデオCDを作成できます。

推奨環境

画像を取り込む時の推奨環境

OS(工場出荷時にインストールされていること): Mac OS 9.1/9.2、Mac OS X(v10.0–v10.3)

USB端子: 標準装備

「ImageMixer VCD2」使用時の推奨環境

OS(工場出荷時にインストールされていること):Mac OS X(v10.1.5以降)

CPU: iMac、eMac、iBook、PowerBook、Power Mac G3/G4シリーズ

メモリ: 128 MB以上(256 MB以上を推奨)

ハードディスク: インストール時に必要な容量:約250 MB

ディスプレイ: 1024×768ドット以上、32000色以上

- 工場出荷時にQuickTime 4以降がインストールされていることが必要です(QuickTime 5以上を推奨)。

パソコン接続についてのご注意

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- Hi-Speed USB(USB2.0準拠)のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送(high-speed転送)が行えます。
- パソコンと接続するときの本機のUSBモードには[標準](お買い上げ時の設定)と[PTP]の2種類あります。ここでは[標準]での使いかたを説明します。[PTP]については、52ページをご覧ください。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページでは、パソコンとの接続方法や最新サポート情報をご覧いただけます。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

画像を取り込んで見る

1 本機とMacintoshを準備する。

「操作2:本機とパソコンを準備する」(57ページ)と同じ準備をします。

2 USBケーブルで接続する。

「操作3:本機とパソコンをつなぐ」(57ページ)と同じ操作で接続します。

3 画像ファイルをMacintoshにコピーする。

① 「デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコン」→[DCIM]→「取り込みたい画像の入ったフォルダ」の順にダブルクリック。

② 画像ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ&ドロップ。
ハードディスクに画像ファイルがコピーされる。

- 画像ファイルの保存先とファイル名については、61ページをご覧ください。

4 Macintoshで画像を見る

「ハードディスクアイコン」→「画像ファイル」の順にダブルクリックすると画像が開く。

USBケーブルを抜く、"メモリースティック"を取り出す、または本機の電源を切るときは

"メモリースティック"またはドライブのアイコンをゴミ箱にドラッグ&ドロップしてから、USBケーブルを抜くなどの作業を行う。

- Mac OS X v10.0の場合は、Macintoshの電源を切ってから作業を行う。

「ImageMixer VCD2」でビデオCDをつくる



- Macintosh版のImageMixer VCD2ではディスクイメージ(ビデオCD形式でCD-Rに書き込みを行うためのデータ)作成までを行います。実際にビデオCD形式でCD-Rに保存する場合は、Roxio社のToast (別売り)が必要になります。

ImageMixer VCD2をインストールするには

- インストール前に使用中のソフトウェアをすべて終了させてください。
- ディスプレイの設定をあらかじめ1024×768ドット以上、32000色モード以上にしてください。

① Macintoshに電源が入った状態で、CD-ROM(付属)をディスクドライブに入れる。

② CD-ROMアイコンをダブルクリック。

③ 「MAC」フォルダの中の「IMXINST.SIT」を任意のフォルダにコピー。

④ コピー先のフォルダの中の[IMXINST.SIT]をダブルクリック。

⑤ コピー先のフォルダの中にあるImageMixerフォルダ内の[ImageMixerVCD2_Install]をダブルクリック。

⑥ ユーザーの承認画面が表示されたら、お好みの名前とパスワードを入力する。
ソフトウェアのインストールが始まる。

「ImageMixer VCD2」を起動するには

① [アプリケーション]の中から[ImageMixer]フォルダを開く。

② [ImageMixer VCD2]をダブルクリックする。

「ImageMixer VCD2」の使いかたを調べるには

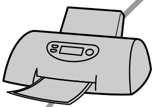
画面右上の[？]をクリックして表示されるヘルプを参照する。

ImageMixer VCD2に関するお問い合わせ・サポートは、ピクセラユーザーサポートセンターに委託しています。

ピクセラユーザーサポートセンター
電話：06-6633-3900
受付時間：月～日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く。）
URL：http://www.ppackage.com/

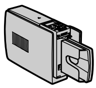
静止画をプリントするには

ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）（69ページ）



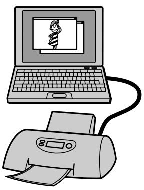
PictBridge対応プリンターに本機を直接接続してプリントします。

ダイレクトプリントする（“メモリースティック”対応プリンター使用）



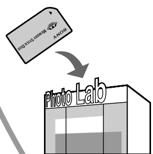
“メモリースティック”対応プリンターでプリントします。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使ってプリントする



付属のCD-ROM収録のソフトウェア「PicturePackage」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。

お店でプリントする（73ページ）



プリントサービス店に、画像を撮影した“メモリースティック”を持参します。プリントしたい画像にあらかじめ（プリント予約）マークをつけておくこともできます。

ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）

PictBridge対応プリンターなら、本機で撮影した画像をパソコンなしでプリントできます。

• 「PictBridge」は、「ピクトブリッジ」と読みます。カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。

シングルプリント

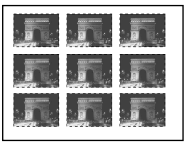
1枚のプリント用紙に1枚の画像をプリントします。



インデックスプリント

1枚のプリント用紙に複数の画像を縮小プリントします。1枚の画像を繰り返しプリントしたり（①）、選択した画像をインデックスプリント（②）できます。

①



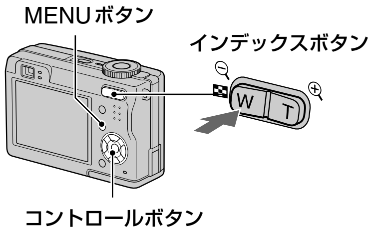
②



• インデックスプリントはプリンターによっては対応していない場合があります。
• プリンターによって、1枚のインデックスプリントでプリントされる画像枚数は異なります。
• 動画はプリントできません。
• 本機の画面で が約5秒間点滅したら（プリンターからのエラー通知）、接続しているプリンターを確認してください。

操作1：本機を準備する

本機とプリンターをUSB接続するために、本機を設定します。



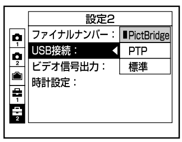
• プリントの途中で電源が切れないように、充分に充電したニッケル水素電池またはACアダプター（別売り）のご使用をおすすめします。

1 MENUボタンを押し、メニューを表示する。

2 コントロールボタンの、▶で[ ]（セットアップ）を選ぶ。

3 コントロールボタンの▼で[ ]（設定2）を選び、▲/▼/▶で[USB接続]を選ぶ。

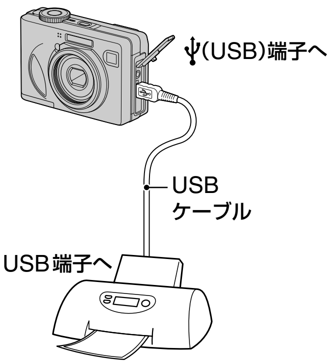
4 ▶/▲で[PictBridge]を選び、中央の●を押す。



USB接続が設定される。

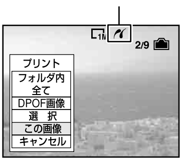
操作2：本機とプリンターをつなぐ

1 付属のUSBケーブルで、本機のψ（USB）端子とプリンターのUSB端子を接続する。



2 本機とプリンターの電源を入れる。

接続が完了すると、画面に
マークが表示される。



本機が再生モードになり、画像とプリントメニューが画面に表示される。

操作3：プリントする

モードダイヤルの位置に関係なく、操作2が終わった時点で、画面にプリントメニューが表示されています。

1 コントロールボタンの▲/▼で希望のプリントの種類を選び、中央の●を押す。

［フォルダ内全て］
フォルダ内すべての画像をプリントする。

［DPOF画像］
表示されている画像と関係なく、（プリント予約）マーク（73ページ）が付いているすべての画像をプリントする。

［選択］
画像を順に選ぶ。選んだすべての画像をプリントする。

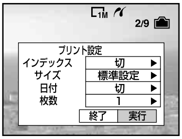
① プリントしたい画像を◀/▶で選び、中央の●を押す。
選んだ画像に✔マークが付く。
- 他の画像も選ぶには、この手順を繰り返す。

② ▼で［プリント］を選び、中央の●を押す。

［この画像］
表示されている画像をプリントする。

- この項目で［この画像］を選び、次の手順2の［インデックス］を［入］にすると、1枚の画像を繰り返しインデックスプリントします。

2 ▲/▼/◀/▶でプリント設定する。



[インデックス]
インデックスプリントするときは[入]を選ぶ。

[サイズ]
用紙サイズを選ぶ。

[日付]
日付を挿入するときは[年月日]または[日時分]を選ぶ。

- [日付]で[年月日]を選んだ場合、→*別冊「はじめに」手順2*で選んだ表示順の年月日が挿入されます。ただし、プリンターによっては対応していない場合があります。

[枚数]

– [インデックス]が[切]のとき：
画像のプリント枚数を設定。シングルプリントされます。

– [インデックス]が[入]のとき：
選択した画像のインデックスプリント枚数を設定。手順1で[この画像]を選んだときは、同じ画像を1枚の用紙に並べる数になります。

- インデックスプリント時、画像の枚数によっては、1枚の用紙に指定枚数分の画像が収まらないことがあります。

3 ▼/▶で[実行]を選び、中央の●を押す。

画像がプリントされる。

- (USBケーブル抜き禁止)マークが画面に表示されているときは、USBケーブルを抜かないでください。



(USBケーブル抜き禁止)マーク

他の画像をプリントするには

手順3のあと、▲/▼で[選択]を選んで画像を選び、手順1から行う。

インデックス画面でプリントするには

「操作1 本機を準備する」(69ページ)と「操作2 本機とプリンターをつなぐ」(70ページ)の後、以下を行ってください。
本機とプリンターを接続すると、プリントメニューが表示されます。[キャンセル]を押してプリントメニューを消してから下記の手順を行ってください。

① (インデックス)ボタンを押す。
インデックス画面が表示される。

② MENUボタンを押す。
メニューが表示される。

③ ▶で[ ](プリント)を選び、中央の●を押す。

④ ◀/▶で希望のプリント種類を選び、中央の●を押す。



［選択］
画像を順に選ぶ。選んだすべての画像をプリントする。
プリントしたい画像を ▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押して✔マークを付ける。（他の画像も選ぶには、この手順を繰り返す。）次に、MENUボタンを押す。

［DPOF画像］
表示されている画像と関係なく、🖨✔（プリント予約）マークが付いているすべての画像をプリントする。

［フォルダ内全て］
フォルダ内のすべての画像をプリントする。

⑤「操作3：プリントする」（70ページ）の手順2～3を行う。

お店でプリントする

画像を撮影した"メモリースティック"をプリントサービス店に持参します。DPOF規格対応のお店でプリントするときは、🖨✓(プリント予約)マークをつけて、プリントしたい画像を本機であらかじめ予約できます。

- 内蔵メモリー内の画像は、プリントサービス店で直接カメラからプリントすることはできません。"メモリースティック"にコピーして、プリントサービス店にお持ちください。

DPOF(ディーポフ)規格とは

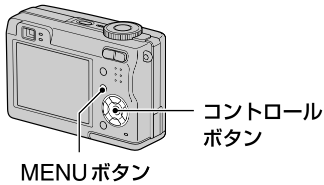
Digital Print Order Formatの略です。🖨✓(プリント予約)マークをつけて、プリントしたい画像を"メモリースティック"上に指定することができます。

- DPOF対応プリンター、PictBridge対応プリンターでも、プリント予約マークをつけた画像をプリントできます。
- 動画はプリント予約マークが付けられません。
- マルチ連写で撮影した画像は、16分割された一枚の画像としてプリント予約マークが付きます。

お店に"メモリースティック"を持参するときには

- 対応している"メモリースティック"の種類はお店にお問い合わせください。
- "メモリースティック"に対応していないプリントサービス店の場合は、CD-Rなどに画像データをコピーして持参してください。
- "メモリースティック デュオ"の場合は、メモリースティック デュオ アダプターも持参してください。
- プリントサービス店をご利用前に、必ずデータのバックアップを取ってください。
- プリント枚数の設定はできません。

シングル画面でプリント予約マークを付ける

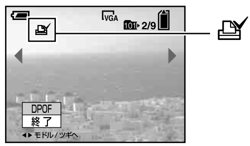


1 予約したい画像を表示する。

2 MENUボタンを押し、メニューを表示する。

3 コントロールボタンの◀/▶で[DPOF]を選び、中央の●を押す。

画像に🖨✓(プリント予約)マークが付く。



4 他の画像にもマークを付けたいときは、◀/▶でマークを付けたい画像を表示させ、中央の●を押す。

シングル画面でプリント予約マークを消すには

手順3または4で中央の●を押す。

インデックス画面でプリント予約マークを付ける

1 **インデックス画面にする。**（→*別冊「はじめに」手順6*）

2 **MENUボタンを押し、メニューを表示する。**

3 **コントロールボタンの◀/▶で[DPOF]を選び、中央の●を押す。**

4 **▲/▼で[選択]を選び、中央の●を押す。**

- [フォルダ内全て]でマークを付けられません。

5 **マークを付けたい画像を▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す。**

画像に緑色のマークが付く。



緑色の
マーク

6 **他の画像にもマークを付けたいときは、手順5を繰り返す。**

7 **MENUボタンを押す。**

8 **▶で実行を選び、中央の●を押す。**

マークが白色に変わる。

中止するには、手順4で[キャンセル]、または手順8で[終了]を選んで中央の●を押す。

インデックス画面でプリント予約マークを消すには

手順5でマークを消したい画像を選び、中央の●を押す。

フォルダ内の全画像の予約マークを消すには

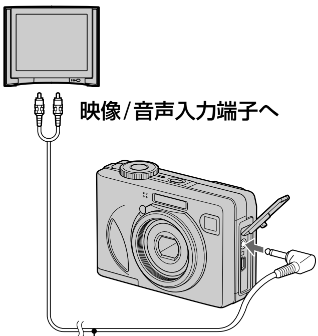
手順4で[フォルダ内全て]を選び、中央の●を押し、次に[切]を選んで●を押す。

テレビで見る

本機とテレビをつないで、撮影した画像をテレビで見ることができます。

本機とテレビの電源を切った状態で接続してください。

1 **A/V接続ケーブル（付属）で本機のA/V OUT (MONO)端子と、テレビの映像/音声入力端子を接続する。**

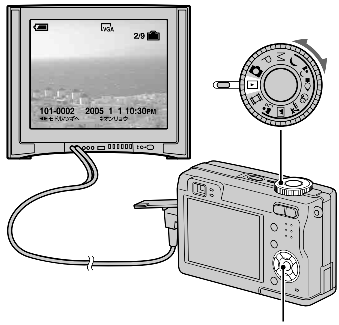


- テレビの音声入力端子がステレオタイプのときはA/V接続ケーブルの音声プラグ（黒）を左音声端子に接続する。

2 **テレビの電源を入れ、テレビ／ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。**

- 詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3 **本機のモードダイヤルを「▶」にして、電源を入れる。**



撮影した画像がテレビに表示される。

コントロールボタンの◀/▶で画像を選ぶ。

- 海外で見るときは[ビデオ信号出力]の切り換えが必要な場合があります（52ページ）。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 77 ～ 86ページの項目をチェックし、本機を点検する。

画面に「C/ E：□□：□□」のような表示が出たときは、87ページをご覧ください。

❷ 電池を取りはずし、約1分後再び電池を入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする（51ページ）。

❹ デジタルイメージングカスタマーサポートのホームページで確認する。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ テクニカルインフォメーションセンターに電話で問い合わせる（裏表紙）。

• 内蔵メモリー搭載機種を修理に出した場合、内蔵メモリーの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

電池・電源

電池の残量表示が正しくない。または電池残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です(92ページ)。
- 電池が消耗しています。充電された電池を取り付ける(→*別冊「はじめに」手順1*)。
- 電池の電極、または電池カバーの端子部が汚れています。乾いた布などで汚れを拭き取る(92ページ)。
- メモリー効果(92ページ)などにより、残量表示と実際の残量にズレが生じています。電池を1度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- 電池の寿命です(93ページ)。新しい電池と交換する。

電池の消耗が早い。

- 充分に充電する(→*別冊「はじめに」手順1*)。
- 温度が極端に低いところで使用しているときの現象です(93ページ)。
- 電池の寿命です(93ページ)。新しい電池と交換する。

電源が入らない。

- 電池が正しく取り付けられているか確認する(→*別冊「はじめに」手順1*)。
- 電池が消耗しています。充電された電池を取り付ける(→*別冊「はじめに」手順1*)。
- 電池の寿命です(93ページ)。新しい電池と交換する。

電源が途中で切れる

- 操作しない状態が3分以上続くと、電池の消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。電源を入れなおす(→*別冊「はじめに」手順2*)。
- 電池が消耗しています。電池を充電する(→*別冊「はじめに」手順1*)。

静止画/動画を撮る

電源を入れても画面がつかない。

- 画面をオンにする(18ページ)。

撮影できない。

- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック"の空き容量を確認する(15ページ)。いっぱいのときは、下記のいずれかを行う。
  – 不要な画像を削除する(→*別冊「はじめに」手順6*)。
  – "メモリースティック"を交換する。
- "メモリースティック"の誤消去防止スイッチを解除する(90ページ)。
- フラッシュ充電中は撮影できません。

- 静止画撮影時は、モードダイヤルを「▶」、「🎞」以外にする。
- 動画撮影時は、モードダイヤルを「🎞」にする。
- 動画撮影時、画像サイズが［640（ファイン）］になっているときは、下記いずれかを行う。
  – 画像サイズを［640（ファイン）］以外にする。
  – "メモリースティック PRO"を入れる（20ページ）。

画面に被写体が写らない。

- モードダイヤルを「▶」以外にする（23ページ）。

撮影に時間がかかる。

- NRスローシャッター機能が働いている（25ページ）。故障ではありません。

ピント（フォーカス）が合わない。

- 被写体が近すぎるためです。近接（マクロ）撮影モードにし、最短撮影距離（W側 約6cm、T側約30cm）より離して撮影する（→*別冊「はじめに」手順5*）。
- 静止画撮影時、シーンセレクションの ☽（夜景モード）、▲（風景モード）が選ばれていると、ピントが合わない場合があります。
- フォーカスプリセットになっているときは、オートフォーカスに戻す（29ページ）。
- 「ピントが合わないときは」（29ページ）をご覧ください。

ズームができない。

- 動画撮影中はズーム倍率を変更できません。

プレシジョンデジタルズームができない。

- ［デジタルズーム］を［プレシジョン］にする（43ページ）。
- 動画撮影時はプレシジョンデジタルズームできません。

スマートズームができない。

- ［デジタルズーム］を［スマート］にする（43ページ）。
- 下記のとき、スマートズームできません。
  – 画像サイズが［7M］（DSC-W7）、［5M］（DSC-W5）、［3:2］
  – マルチ連写時
  – 動画撮影時

フラッシュ撮影ができない。

- フラッシュの設定が ⊘（発光禁止）になっている（→*別冊「はじめに」手順5*）。
- 以下のときは、フラッシュ撮影できません。
  – ［Mode］（撮影モード）が［連写］または［マルチ連写］のとき（32ページ）
  – シーンセレクションの ☽（夜景モード）、🕯（キャンドルモード）、🎞（動画）のとき（→*別冊「はじめに」手順5*）

• シーンセレクションの ▲(風景モード)、☃(スノーモード)、🏝(ビーチモード)が選ばれているときは、⚡(強制発光)にする(→*別冊「はじめに」手順5*)。

近接(マクロ)撮影ができない。

• シーンセレクションの ☽(夜景モード)、▲(風景モード)、🕯(キャンドルモード)が選ばれているときは、近接(マクロ)撮影できません(24ページ)。

正しい撮影日時が記録されない。

• 日付・時刻を合わせる(→*別冊「はじめに」手順2*)。

シャッターを半押しするとF値、シャッタースピードが点滅する。

• 露出が合っていません。露出補正する(28ページ)。

画像が暗い。

• 逆光になっています。測光モード選択(30ページ)、または露出補正(28ページ)する。
• 画面が暗いときは、LCDバックライトの明るさを調節する(51ページ)。
• 画面をオンにする(18ページ)。

画像が明るい。

• 舞台など暗いところでスポットライトが当たっている状態で撮影しています。露出補正する(28ページ)。
• 画面が明るすぎるときは、LCDバックライトの明るさを調節する(51ページ)。

画像の色が正しくない。

• ピクチャーエフェクトを解除する(34ページ)。

明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。

• スミアという現象です。故障ではありません。

暗い場所で画面を見ると画像にノイズが目立つ。

• 暗い場所でも確認できるように、画面を一時的に明るくする機能が働いています。撮影される画像には影響ありません。

被写体の目が赤く写る。

• 赤目軽減モードにする(44ページ)。
• 被写体に近づいてフラッシュ推奨撮影距離内(→*別冊「はじめに」手順5*)で撮影する。
• 室内を明るくして撮影する。

ファインダーで見た画像と記録される画像の範囲がずれる。

- 被写体との距離が近いとき、視差（パララックス）により生じる現象で、故障ではありません。近い被写体のときは、画面で構図を確認してください。

連写できない。

- 内蔵メモリーや"メモリースティック"の容量がいっぱいです。不要な画像を削除する（→*別冊「はじめに」手順6*）。
- 電池の残量が足りない。充電された電池を取り付ける。

画像を見る

「パソコン」（81ページ）も合わせてご覧ください。

再生できない。

- モードダイヤルを「▶」にする（23ページ）。
- パソコンで名前を変更したフォルダ／ファイルは再生できないことがあります。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。接続を終了する（60ページ）。

表示直後に再生画像が粗い。

- 画像処理のため、表示直後は画像が粗くなります。故障ではありません。

テレビに画像が出ない。

- ［ビデオ信号出力］が［NTSC］になっているか確認する（52ページ）。
- 接続が正しいか確認する（75ページ）。
- USB端子が接続されている。正しい手順に従って取りはずす（60ページ）。

画面に画像が出ない。

- AVケーブルが本機に接続されている場合は、はずす（75ページ）。

画像を削除する／編集する

削除できない。

- 画像のプロテクトを解除する（36ページ）。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを解除する（90ページ）。

誤って消してしまった。

- 1度削除した画像は元に戻せません。画像にプロテクトをかける（35ページ）か、“メモリースティック”の誤消去防止スイッチを「LOCK」にする（90ページ）と誤消去を防げます。

リサイズができない。

- 動画/マルチ連写画像はリサイズできません。

プリント予約マークが付かない。

- 動画にはプリント予約マークを付けられません。

動画を分割できない。

- 充分な長さ（約2秒以上）のない動画は分割できません。
- 画像のプロテクトを解除する（36ページ）。
- 静止画は分割できません。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報はデジタルイメージングカスタマーサポートのホームページをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

対応しているOSが分からない。

- 「パソコンの推奨使用環境」を確認する（55、65ページ）。

USBドライバをインストールできない。

- Windows 2000を使用している場合は、Administrator（管理者権限）でログオンする（56ページ）。

本機がパソコンに認識されない。

- 本機の電源が入っているか確認する（→*別冊「はじめに」手順2*）。
- 電池残量が少ないときは、充電された電池を取り付ける（→*別冊「はじめに」手順1*）、またはACアダプター（別売り）を使用する（13ページ）。
- 接続には、付属のUSBケーブルを使う（57ページ）。
- 1度パソコンと本機からUSBケーブルを抜いて再びしっかりと差し込み、「USBモード標準」と表示されているか確認する（57ページ）。
- [USB接続]が[標準]になっているか確認する（52ページ）。
- パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずす。
- USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続する（55ページ）。
- USBドライバがインストールされていないときは、インストールする（56ページ）。
- CD-ROM（付属）から「USBドライバ」をインストールする前に、USBケーブルで本機とパソコンを接続したため、デバイスが正しく認識されていない。正しく認識されなかったデバイスを削除してからUSBドライバをインストールする（次の項目）。

本機とパソコンをUSB接続しても、パソコン画面に「リムーバルディスク」が表示されない。

- 下記の手順をパソコンで行い、USBドライバをインストールし直す。
  以下は、Windowsパソコンの手順です。

1. [マイコンピュータ]を右クリックしてメニューを表示し、[プロパティ]をクリック。
   「システムのプロパティ」画面が表示される。
2. [ハードウェア]タブ→[デバイスマネージャ]の順にクリック。
   - Windows98/98SE/Meをお使いの場合は、[デバイスマネージャ]タブをクリック。
   「デバイスマネージャ」が表示される。
3. 「Sony DSC」を右クリックし、[削除]→[OK]の順にクリック。
   デバイスが削除される。
4. USBドライバをインストールする（56ページ）。

画像をコピーできない。

- 本機とパソコンを正しくUSB接続する（57ページ）。
- OSに対応した手順でコピーする（58ページ）。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック”で撮影した場合、画像をコピーできないことがあります。本機でフォーマットした“メモリースティック”で撮影する（48ページ）。

USB接続をしたときに「PicturePackage」が自動起動しない。

- 「PicturePackage Menu」を起動し、[設定]を確認する。
- パソコンの電源を入れた状態でUSB接続をする（57ページ）。

画像を再生できない。

- 「PicturePackage」をお使いの場合は、各画面右上のヘルプをご覧ください。
- パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

動画を再生すると画像や音が途切れる。

- 内蔵メモリーまたは“メモリースティック”から直接再生すると、画像や音が途切れます。パソコンのハードディスクに動画をコピーして、ハードディスクのファイルを再生する（56ページ）。

画像をプリントできない。

- プリンターの設定を確認する。

パソコンからコピーした画像ファイルが本機で見られない。

- 101MSDCFなど本機で認識するフォルダにコピーする（62ページ）。
- 正しい手順で操作する（62ページ）。

“メモリースティック”

本機に入らない。

- 正しい向きで入れる（→*別冊「はじめに」手順3*）。

記録できない。

- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを解除する（90ページ）。
- “メモリースティック”の容量がいっぱいになっているときは、不要な画像を削除する（→*別冊「はじめに」手順6*）。
- 動画を画像サイズ「640（ファイン）」で撮影するときは、“メモリースティック PRO”を使用する（20ページ）。

フォーマットできない。

- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチを解除する（90ページ）。

誤ってフォーマットしてしまった。

- “メモリースティック”内のデータはすべて消去され、元に戻せません。誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると誤フォーマットを防げます（90ページ）。

内蔵メモリー

内蔵メモリー内のデータが本機、またはパソコンで再生できない。

- 本機に"メモリースティック"が入っている。取りはずす（→*別冊「はじめに」手順3*）。

撮影した画像を内蔵メモリーに記録することができない。

- 本機に"メモリースティック"が入っている。取りはずす（→*別冊「はじめに」手順3*）。

内蔵メモリーのデータを"メモリースティック"にコピーしたのに、内蔵メモリーの容量が減らない

- データをコピーしても、内蔵メモリー内のデータは削除されません。コピー後に改めて内蔵メモリーの[フォーマット]を行う（47ページ）。

内蔵メモリー内のデータを"メモリースティック"にコピーできない

- "メモリースティック"の空き容量がない。空き容量を確認する。

"メモリースティック"やパソコンの画像を内蔵メモリーにコピーできない

- "メモリースティック"やパソコンの画像は内蔵メモリーにコピーできません。

PictBridge対応プリンター

プリンターと接続できない。

- 本機は、PictBridge非対応プリンターには直接接続できません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターの電源が入り、接続可能な状態になっていることを確認する。
- [USB接続]が[PictBridge]になっているか確認する（52ページ）。
- USBケーブルを抜いて、接続しなおす。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

プリントできない。

- 本機とプリンターがUSBケーブルで正しく接続されているか確認する。
- プリンターの電源が入っているか確認する。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- プリント中に「終了」を選ぶと、再びプリントできない場合があります。USBケーブルを抜いて、接続しなおす。それでも復帰しないときは、USBケーブルをもう1度抜き、プリンターの電源を入れ直してから接続しなおす。
- 動画はプリントできません。
- 本機以外で撮影した静止画、またはパソコンで加工した画像はプリントできない場合があります。

プリントが中断される。

- （USBケーブル抜き禁止）マークが消える前に、USBケーブルを抜いた。

日付挿入／インデックスプリントができない。

- プリンターが日付挿入／インデックスプリントに対応してない。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターによっては、インデックスプリントでは日付が挿入されない場合があります。プリンターのメーカーにお問い合わせください。

日付部分に「---- -- --」などが印刷される。

- 画像ファイルに印刷可能な撮影日時情報が入っていない。[日付]を[切]にしてプリントしてください（71ページ）。

プリントしたい用紙サイズが選択できない。

- プリンターがプリントしたい用紙サイズに対応しているか、プリンターのメーカーにお問い合わせください。

プリンターの用紙サイズどおりに印刷できない。

- 本機とプリンターを接続した後にプリンターの用紙を別のサイズの用紙と取り換えた場合は、1度USBケーブルを抜いてプリンターを接続しなおしてください。
- 本機での印刷設定と、プリンターの設定が合っていない。本機の用紙サイズ設定を変更する（71ページ）か、プリンターの用紙設定を変更する。

印刷を中止すると、他の操作ができない。

- プリンターが印刷中止の処理をしているので、しばらくお待ちください。プリンターによっては時間がかかることがあります。

その他

操作を受け付けない。

- 本機で使える電池を使う（92ページ）。
- ⌂ 表示時は、電池残量が少ない。充電する（→*別冊「はじめに」手順1*）。

電源が入っているのに操作できない。

- 内部システムが誤動作しています。電池を取りはずし、約1分後再び電池を入れ、本機の電源を入れる。

画面上の表示が分からない。

- 14ページをご覧ください。

レンズがくもる。

- 結露している。電源を切って約1時間そのままにしてから使用する（94ページ）。

長時間使用すると、本機が熱くなる。

- 故障ではありません。

電源を切ってもレンズが収納されない。

- 電池が消耗している。充電された電池を取り付けるか（→*別冊「はじめに」手順1*）、ACアダプター（別売り）を使用する（13ページ）。

電源を入れると、時刻設定画面が表示される

- 時刻を設定しなおす（→*別冊「はじめに」手順2*）。

自己診断表示と警告表示

自己診断表示

画面にアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。表示の末尾2桁(□□)の数字は、本機の状態によって変わります。
下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください(裏表紙)。

C:32:□□

- ハードウェアの異常。電源を入れなおす。

C:13:□□

- データが読めない/書けない。"メモリースティック"を数回抜き差しする。
- フォーマットしていない"メモリースティック"を入れた。フォーマットする(48ページ)。
- 本機では使えない"メモリースティック"を入れた。またはデータが壊れている。"メモリースティック"を交換する(90ページ)。

E:61:□□

E:91:□□

E:92:□□

- 何らかの異常が起きている。設定リセット(51ページ)してから、電源を入れる。

警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。

電源を入れ直してください

- レンズの誤動作です。



- 電池の残量が少ない。電池を充電する(→*別冊「はじめに」手順1*)。ご使用状況や電池の種類によっては、電池残量が5分から10分でも点滅することがあります。

システムエラー

- 電源を入れなおす(→*別冊「はじめに」手順2*)。

内蔵メモリーエラー

- 電源を入れなおす(→*別冊「はじめに」手順2*)。

メモリースティックエラー

- "メモリースティック"を入れなおす。
- 本機では使えない"メモリースティック"が入っている(90ページ)。
- "メモリースティック"が壊れている。
- "メモリースティック"端子が汚れている。

非対応のメモリースティックです

- 本機では使えない"メモリースティック"が入っている(90ページ)。

フォーマットエラー

- フォーマットしなおす(47、48ページ)。

メモリースティックがロックされています

- "メモリースティック"の誤消去防止スイッチを解除する(90ページ)。

内蔵メモリーの残量がありません

メモリースティックの残量がありません

- 不要な画像やデータを消去する(→*別冊「はじめに」手順6*)。

読み出し専用のメモリースティックです

- この"メモリースティック"への画像記録や消去はできません。

ファイルがありません

- 内蔵メモリー内に画像が記録されていない。

このフォルダにはファイルがありません

- フォルダ内に画像が記録されていない。
- パソコンからのファイルコピー方法が正しくない(62ページ)。

フォルダエラー

- 上3桁の番号が同じフォルダが"メモリースティック"内にある。(例:123MSDCFと123ABCDE)。別のフォルダを選択するか、フォルダを作成する(48ページ)。

これ以上フォルダ作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダが"メモリースティック"内にある。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。

記録できません

- 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択した。他のフォルダを選択する(49ページ)。

ファイルエラー

- 画像再生時に異常が発生した。

ファイルがプロテクトされています

- プロテクトを解除する(36ページ)。

画像サイズオーバーです

- 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしている。

分割できません

- 分割できる充分な長さ(約2秒以上)がない。
- 動画ではない。

無効な操作です

- 本機以外で作成したファイルを再生しようとしている。

 (手ぶれ警告表示)

- 光量不足のため、手ぶれが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使用する。または、三脚などで本機をしっかりと固定する。

640(ファイン)に対応していません

- [640(ファイン)]の動画に対応しているのは"メモリースティックPRO"のみ。"メモリースティックPRO"を入れるか、画像サイズを[640(ファイン)]以外に設定する。

接続先を確認してください

- 本機の設定が[PictBridge]になっているのに、PictBridgeに対応していない機器と接続している。接続している機器を確認する。
- 接続が確立できない。USBケーブルを抜いて、接続しなおす。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

PictBridge機器と接続してください

- プリンターと接続する前にプリントしようとした。PictBridge対応のプリンターと接続する。

プリントできる画像がありません

- プリント予約マークを付けないで[DPOF画像]を実行しようとした。
- 動画しか入っていないフォルダを選んで、[フォルダ内全て]を実行しようとした。動画はプリントできません。

プリンタービジー

用紙エラー

用紙がなくなりました

インクエラー

インクが少なくなりました

インクがなくなりました

- プリンターを確認する。

プリンターエラー

- プリンターを確認する。
- プリントしたい画像が壊れていないか確認する。



- 接続しているプリンターへのデータ転送が完了していない可能性がある。USBケーブルを抜かないでください。

処理中

- プリンターが印刷中止処理を行っている。処理が完了するまでは印刷できません。プリンターによっては処理に時間がかかることがあります。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”は、小さくて軽いIC記録メディアです。“メモリースティック”のうち、本機で使えるのは下表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録・再生
メモリースティック	○
メモリースティック（マジックゲート/高速データ転送対応）	○*2*3
メモリースティック デュオ*1	○
メモリースティック デュオ（マジックゲート/高速データ転送対応）*1	○*2*3
マジックゲート メモリースティック	○*2
マジックゲート メモリースティック デュオ*1	○*2
メモリースティック PRO	○*2*3*4
メモリースティック PRO デュオ*1	○*2*3*4

*1 本機でご使用の場合は、必ずメモリースティック デュオ アダプターに装着してからお使いください。

*2 マジックゲート搭載の“メモリースティック”です。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録／再生はできません。

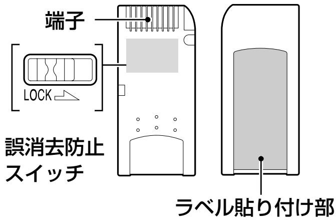
*3 パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しております。

*4 動画の[640（ファイン）]の記録ができます。

- パソコンでフォーマットした“メモリースティック”は、本機での動作を保証しません。
- お使いの“メモリースティック”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み／書き込み速度が異なります。

“メモリースティック”（別売り）使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。



誤消去防止スイッチの有無や位置、形状は、お使いの“メモリースティック”によって異なることがあります。

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

“メモリースティック デュオ”(別売り)使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“メモリースティック デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認ください。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに装着して本機でご使用になるときは、正しい挿入方向を確認の上ご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- “メモリースティック デュオ”をフォーマットするときは、“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに装着してください。
- “メモリースティック デュオ”に誤消去防止スイッチがついている場合、誤消去防止を解除してお使いください。

“メモリースティック PRO”(別売り)使用上のご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO”は2GBまでです。

バッテリーチャージャー・電池について

バッテリーチャージャーについて

- 付属のバッテリーチャージャーで、ソニーニッケル水素電池以外の電池を充電しないでください。指定以外の電池(マンガン乾電池、アルカリ乾電池、1次リチウム電池、ニカド電池など)を充電すると、電池の液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となり、やけどやけがをする恐れがあります。
- 充電したニッケル水素電池はバッテリーチャージャーから取り出してください。そのまま充電を続けると、電池の液漏れ、発熱、破裂、感電の原因となります。
- 付属のニッケル水素電池以外の高容量電池を、付属のバッテリーチャージャーで充電した場合、電池に表示されている容量を得られないことがあります。
- CHARGEランプが点滅した場合は、電池の異常、または指定以外の電池が挿入された場合が考えられます。指定の電池かどうか確認してください。また、指定の電池を挿入している場合は、1度電池を全部抜き、新品の電池など、別の電池を挿入してバッテリーチャージャーが正常に動作するか確認してください。バッテリーチャージャーが正常に動作する場合は、電池の異常が考えられます。
- バッテリーチャージャーが汚れていると正常に充電できないことがあります。乾いた布などで汚れを拭き取ってください。

使用できる電池

単3形ニッケル水素電池2本

「NH-AA-DA」2本(付属)

「NH-AA-2DB」2本パックなど(別売り)

単3形アルカリ電池2本

単3形ニッケルマンガン電池2本

使用できない電池

マンガン電池

リチウム電池

ニカド電池

上記の電池を使用した場合、電池の特性上、電圧低下などで動作性能を保証できません。

ニッケル水素電池使用上のご注意

- 電池の外装シールをはがしたり、傷つけたりしないでください。外装シールの一部またはすべてがはがれている電池や破れのある電池は、絶対に使用しないでください。液漏れ、発熱、破裂の原因となり、やけどやけがをする恐れがあります。また、バッテリーチャージャーの故障の原因となります。
- ニッケル水素電池を持ち運ぶときは、必ず付属の電池ケースに入れてください。金属類で+、−がショートすると、発熱、発火の危険があります。
- ニッケル水素電池の電極が汚れていると正常に充電できない場合があります。乾いた布などで汚れを拭き取ってください。
- お買い上げ時や、長い間使わなかったニッケル水素電池は、充分に充電されないことがあります。これは電池の特性によるもので、故障ではありません。この場合、充電して使用することを数回繰り返すと、正常な状態に戻ります。
- 電池の容量が残っている状態で繰り返し充電すると、メモリー効果＊が発生して早めに電池残量警告が表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電すると、正常な状態に戻ります。

  ＊メモリー効果：一時的に電池の容量が低下したような特性を示す現象
- 本機でニッケル水素電池を使い切るには、「スライドショー」再生(37ページ)にして電源が切れるまでそのままにしてください。
- 新しい電池と使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。

ニッケル水素電池の上手な使いかた

- ニッケル水素電池は、使用しないときでも自然放電により容量が低下します。ご使用になる直前に充電することをおすすめします。
- 周囲の温度が低いと、電池の性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間使用できるように、付属のバッテリーケースに電池を収納してポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前に本機に取り付けることをおすすめします。
- 電池の電極や本機の電池カバーの電池端子部が汚れていると、動作時間が極端に短くなることがあります。汚れ防止のため、ときどき乾いた布などで拭いてください。
- フラッシュ撮影やズーム撮影などを頻繁にすると、電池の消耗が早くなります。
- 予定撮影時間の2～3倍の予備電池を準備して、事前にためし撮りをしてください。

ニッケル水素電池の寿命について

- 電池には寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ、電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命と思われますので、新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況、環境により、異なります。

アルカリ電池/ニッケルマンガン電池使用上のご注意

- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は付属のニッケル水素電池に比べ使用できる時間が短く、電池残量が表示されていても、電源が切れることがあります。
- 電池のメーカーや種類によって性能のばらつきが大きく、使用可能時間が極端に短くなる場合があります。特に低温下では著しく電力が弱まります。5℃以下では撮影できないことがあります。
- 新しい電池と使用した電池を混ぜて使用しないでください。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池の場合は、電池残量が正しく表示されません。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は特性上、撮影時と再生時での使用可能時間が大きく異なるため、モードダイヤルが切り換わると、レンズが出たまま電源が切れてしまうことがあります。そのときは、新しい電池に交換するか、充分に充電したニッケル水素電池に交換してください。（付属のニッケル水素電池のご使用をおすすめします。）

使用上のご注意

■ 置いてはいけない場所

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

■ 動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0℃～40℃（アルカリ電池/ニッケルマンガン電池使用時は約5℃～40℃）です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

■ 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖かい所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

■ 内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

充電方法

本機に充電された電池を入れるか、ACアダプター（別売り）を使ってコンセントにつないで、電源を切ったまま24時間以上放置する。

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子	DSC-W7 9.11mm (1/1.8型) カラー CCD 原色フィルター DSC-W5 9.04mm (1/1.8型) カラー CCD 原色フィルター
総画素数	DSC-W7 約7 410 000画素 DSC-W5 約5 255 000画素
カメラ 有効画素数	DSC-W7 約7 201 000画素 DSC-W5 約5 090 000画素
レンズ	カール ツァイス バリオ・テッサー 3倍ズームレンズ f=7.9 ～ 23.7 mm（35 mmカメラ換算では38 ～ 114 mm）、F2.8 ～ 5.2
露出制御	自動、マニュアル露出、シーンセレクション（7モード）
ホワイト バランス	オート、太陽光、曇天、蛍光灯、電球、フラッシュ
記録方式 （DCF準拠）	静止画：Exif Ver. 2.2 JPEG準拠、DPOF対応 動画：MPEG1準拠（モノラル）
記録メディア	内蔵メモリー　32MB “メモリースティック”
フラッシュ	推奨撮影距離（ISO感度がオートのとき）0.2 ～ 4.5 m（W）／ 0.3 ～ 2.5 m（T）

[入出力端子]

A/V OUT (MONO)端子（モノラル）	ミニジャック 映像：1Vp-p、75 Ω不平衡、同期負 音声：327mV（47k Ω負荷時） 出力インピーダンス2.2k Ω
USB端子	mini-B
USB通信	Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）

[液晶画面]

液晶パネル	6.2cm（2.5型）TFT駆動
総ドット数	115 200（480 × 240）ドット

[電源・その他]

電源	単3形ニッケル水素電池（2本、付属）、2.4V 単3形アルカリ電池（2本、別売り）、3V 単3形ニッケルマンガン電池（2本、別売り）、3V ACアダプター AC-LS5K（別売り）、4.2V
消費電力 （撮影時、液晶画面オン）	DSC-W7 1.2W DSC-W5 1.1W
動作温度	0℃～ +40℃
保存温度	− 20℃～ +60℃
外形寸法	91 × 60 × 37.1 mm （幅×高さ×奥行き、最大突起部を除く）
本体質量	約253 g（電池2本、リストストラップなど含む）
マイクロホン	エレクトレットコンデンサマイクロホン
スピーカー	ダイナミックスピーカー
Exif Print	対応
PRINT Image Matching III	対応
PictBridge	対応

Ni-MHバッテリーチャージャー BC-CS2A/CS2B

定格入力	AC 100 ～ 240V、50/60Hz、3W
定格出力	単3：DC1.4V、400mA × 2 単4：DC1.4V、160mA × 2
動作温度	0℃～＋40℃
保存温度	－20℃～＋60℃
外形寸法	約71 × 30 × 91 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量	約90g

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや"メモリースティック"などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください(裏表紙)。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください(裏表紙)。

■ 修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。データのバックアップ方法は、21ページをご覧ください。
修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の保障についてはご容赦ください。

用語の解説

インストール（56、63、66ページ）
ソフトウェアなどをコンピューターにコピーして組み込み、使用できる状態にすること。

オートパワーオフ機能（*→別冊「はじめに」手順2*）
電源を入れたまま一定時間操作をしないと、電池の消耗を防ぐため、本機の電源が自動的に切れる機能。

拡張子（61ページ）
ファイルの種類を表す3 〜 4文字の英数字のこと。ファイル名の末尾にピリオドで区切られた一番右側の部分。

画素（11ページ）
画像を構成する最小単位。画素数が多いほど画像サイズが大きくなり、画像の解像度が高くなる。

画像サイズ（11ページ）
画素数を縦×横で表示したサイズ。画像サイズが大きいと、画素数が多くなり画像の解像度が高くなる。

光学ズーム（43ページ）
カメラのレンズ機能として拡大ズームを行うこと。CCDとレンズの間の焦点距離を変化させることにより広角・望遠を切り換える方式。画像の劣化はない。

視差（パララックス）（80ページ）
ファインダーで見える範囲とレンズを通して液晶画面に写る範囲に差が生じること。被写体との距離が近くなるほど視差が大きくなる。

シャッタースピード（9ページ）
撮影時にCCDに光を当てる時間のこと。シャッタースピードを速くすると動きのある被写体も止まって写り、遅くすると流れて写る。

スマートズーム（43ページ）
極めて画質劣化の少ない、画質を優先したデジタルズーム。光学ズームと同じような感覚で使える。ただし、最大ズーム倍率は設定している画像サイズによって異なる。

ドライバ（56ページ）
どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピューター側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアのこと。

ノイズ（10ページ）
CCDが光を受け取り信号として出力するまでの過程で発生する画像のざらつきのこと。

半押し（*→別冊「はじめに」手順5*）
シャッターボタンを押し込まず、半分押した状態にしておくこと。シャッターボタンを半押しすると、撮影状況に合わせてピントと露出を自動で調整する。

ピント（29ページ）
被写体に対する焦点のこと。本機はピントを自動調整する。撮影距離を手動でも設定できる。

フォーマット(47、48ページ)
「初期化」とも言い、記録メディアにデータを書き込めるようにすること。フォーマットすると、記録メディアに保存されているデータはすべて消える。

フォルダ(35、48ページ)
本機で撮影した画像をまとめて格納する場所。目的別(イベント別)・日付別に画像を分類するときに便利。

プレシジョンデジタルズーム(43ページ)
ズーム倍率を優先したデジタルズーム。画像をデジタル処理することにより、画像サイズの設定に関係なく常に最大で光学ズーム倍率の2倍のズームが可能。画像サイズ、ズームポジションによっては、スマートズームより画質が劣化することがあるが、一般的なデジタルズームに比べて劣化の少ない画質が得られる。

ホワイトバランス(31ページ)
光源に合わせて色を調整する機能。被写体の見た目の色は光の状況に影響される。例えば、電球の下で撮影すると白い被写体が赤っぽく写る。ホワイトバランスを設定すると、自然な色合いで撮影できる。

"メモリースティック"(90ページ)
"メモリースティック"は小さくて軽いIC記録メディア。

有効画素数(95ページ)
CCDが光から電気信号に変換できる画素数。有効画素数から画像処理をしたものが記録画素数になる。

露出(9ページ)
絞りとシャッタースピードの値により決まる光量。

AE(30ページ)
「Auto Exposure」の略で、被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能。

AF(29ページ)
「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能。

CCD(95ページ)
「Charge Coupled Device」の略で、光を電気信号に変換する半導体の一種。

DCF(7ページ)
「Design rule for Camera File system」の略で、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された統一規格。

DPOF(73ページ)
「Digital Print Order Format」の略。「ディーポフ」と読み、プリント予約したい写真を"メモリースティック"上に指定できる。

EV(28ページ)
「Exposure Value」の略で、露光量を表す単位。

Exif(95ページ)
(社)電子情報技術産業協会(JEITA)が制定した撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画像用のファイルフォーマット。

ISO(31ページ)
「イソ」と読み、カメラフィルムの光に対する感応度で、ISO単位で表す。数値が大きいほど高感度に撮影できる。

JPEG(61ページ)
「ジェイペグ」と読み、インターネットで扱う代表的なカラーの静止画を圧縮する形式。本機では、通常の静止画撮影時、JPEG形式で画像を保存する。

MPEG(61ページ)
「エムペグ」と読み、カラー動画像の圧縮方式の1つ。品質の良い画像や高い圧縮形式が得られる。本機では、動画撮影時、MPEG形式で画像を保存する。

OS(55、65ページ)
「Operating System」の略。コンピューター全体を管理し、コンピューターを操作するのに必要な基本ソフトウェアのこと。

PictBridge(69ページ)
「ピクトブリッジ」と読み、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格。PictBridge対応のプリンターと本機を接続して、画像ファイルをプリントできる。

PTP(52ページ)
「Picture Transfer Protocol」の略。パソコンに画像データを簡単にコピーできる接続方法。

USB(55、65ページ)
「Universal Serial Bus」の略。キーボードやマウスなどのパソコンの周辺機器を接続するための規格。

VGA(→*別冊「はじめに」手順4*)
「Video Graphics Array」の略。640×480の画像サイズのこと。

索引

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

索引

商標について

- Cyber-shotはソニー株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK™、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティックPRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"MagicGate"、"マジックゲート"およびMAGICGATEはソニー株式会社の商標です。
- PicturePackageはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTime、iMac、iBook、PowerBook、Power Mac、eMacはApple Computer, Inc.の登録商標または商標です。
- MacromediaおよびFlashはMacromedia Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Intel、MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。